

エンジンスターター

VE-E8810st

 アンサーバックType

取扱説明書

取り付け前のご注意

取り付けできる車両を、お確かめください。

弊社ホームページの車種別専用ハーネス適応表をご覧ください。ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご自身で取り付けすることはできません。

- ・本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としています。
- ・お客様ご自身での取り付けに関するサポートは行っておりません。
- ・お客様ご自身で取り付けられた場合は保証の対象外になります。

使用上のご注意

- ・周囲の安全を確認できる範囲で使用してください。
- ・病院内や航空機内など、使用禁止の場所では使用しないでください。
- ・心臓ペースメーカー等医療機器をご使用の方、持病のある方、妊娠の可能性または妊娠されている方は、医師にご相談ください。
- ・リモコンはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- ・シフトレバーは必ずパーキングの位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用してください。
- ・必ずボンネットが閉まった状態で使用してください。
- ・リモコンの改造はしないでください。
- ・リモコンや車両に貼ってあるラベルやステッカーは、はがさないでください。
- ・海外で使用しないでください。
- ・付属のボタン電池は、動作確認用のサンプルです。短時間の使用しかできません。
- ・指定のボタン電池以外は使用しないでください。また、新品と使いかけの電池やブランドが異なる電池を同時に使用しないでください。
- ・一般公道での使用、締め切った場所での使用はおやめください。
- ・地域により車両の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。
- ・本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については、当社は一切その責任を負いません。

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 VE-E8810st		S/No.	
お買い上げ 年 月 日		年 月 日	
お買い上げ年月日の記載がない場合は、無料修理対象外となります。			
保証期間		お買い上げの日から3年 (リモコンは1年。電池などの消耗品は除く。)	
お客様	お名前	様	
	〒		
販売店	店名・住所	TEL ()	
	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。		
故障内容記入欄			

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、窃盗、指定外の使用電源(電圧・周波数)や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 特別な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (チ) リモコン用電池などの付属品(アンテナユニット・アンテナユニットを除く)および消耗品の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

無効

おすすめピックアップ

車内で「ピピピッピピッ」と鳴っている場合

P.38

電池を交換する

P.43

● 約1年を目安に新しい電池と交換してください。

エンジンをかける
エンジンを止める

P.48

P.55

時間を合わせる

P.60

● タイマースタート機能を使用するには、あらかじめ時刻設定が必要です。

エンジンスターターの設定

P.66

● 車両や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定を設けてあります。

故障かな?と思ったら

P.74

● リモコンの液晶画面が表示されない、エンジンが始動または停止できないなど…

確認とご注意

安全上のご注意 4

使用上のご注意 8

各部の名称と働き 10

1. 付属 10
2. 別売品 12
3. 付属・別売品の購入について 12

各機能について 13

1. 安全機能 13
2. スリープ機能 14
3. オートストップ機能 14
4. ターポタイマー機能 14

取り付け・接続

梱包内容の確認 16

取り付けの前に (安全上のご注意) ... 16

1. エレクトロタップの使いかた 17

基本接続図 18

取り付けと接続 20

1. 温度センサの接続 21
2. アンテナユニットの取り付け 22
3. 別売品のイモビ対応アダプターなどの接続 25
4. 車種別ハーネス (別売品) の接続 29
5. P・ポジション検出 30
6. エンジン始動および停止の確認 33
7. ジャンクションユニットの取り付け 35
8. 配線処理について 36
9. 「ご注意ステッカー」の貼り付け 36

車内で『ピピピッ ピピピッ』と鳴っている場合 38

1. P・ポジション検出の設定手順 38

リモコンについて

リモコンについて 40

1. リモコンの表示について 40
2. リモコンの上手な使い方 41
3. サイレント操作について 42
4. 時刻を合わせる 42
5. 電池残量表示 42

6. 電池交換 43

7. リモコンが紛失 / 故障したとき 44

基本的な使いかた

エンジン始動～停止までの手順 ... 48

1. エンジンの始動 48
2. エンジンの状態を確認する 52
3. アイドリング時間を延長する 54
4. エンジンの停止 55
5. 車両に乗る 56
6. ドアのロック / アンロック操作 57

カスタマイズして使う

タイマースタート機能 60

1. 現在時刻設定操作 60
2. タイマー時刻設定 62
3. タイマー予約解除 64
4. タイマー再設定 (前回と同じ曜日、時刻に設定) 65

エンジンスターターの設定 66

1. 設定項目一覧 66
2. 各設定項目の説明 68

エンジンスターターの特殊設定 ... 71

1. 設定項目一覧 71
2. 各設定項目の説明 72

その他

故障かな?と思ったら 74

始動エラー音について 77

仕様 78

アフターサービスについて 79

保証書 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ 警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
- ⚠ 注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

❗ 異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

- ＜異常な状態の例＞
- ・内部に異物が入った
 - ・水に浸かった
 - ・煙が出ている
 - ・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。
▶ P.79 「アフターサービスについて」

❌ 本機を次のような場所に保管しないでください。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

❌ 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

絵表示について

❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。

❌ してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

👉 関連するページを示します。

❌ サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



❌ エアバッグシステムの配線およびコネクタには触れないでください。また、エアバッグの動作の支障となる場所に取り付けたり、配線しないでください。

エアバッグが正常に作動しなかったり、事故やケガの原因となります。

⚠ 注意

❌ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。

故障の原因となります。

❌ 濡れた手で操作しないでください。

感電や故障の原因となります。



❌ 落としたり、強いショックを与えないでください。

破損、故障の原因となります。

❌ 結露したまま使い続けしないでください。

故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

⚠ 本機は精密機械です。

静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●本機の操作について

⚠ 警告

❗ シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用してください。

ニュートラル(N)の位置で使用すると、エンジンの振動で車両が動き出し、事故の原因となります。

❗ リモコンはお子様の手の届かない場所に保管してください。

お子様が勝手にエンジンを始動させ、事故の原因となります。

❗ あらかじめ駐車時には以下のことを守ってください。

- ・ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)をOFFにしてください。エンジン始動を行ったときに動き出すので危険です。また凍結した場合、モーターの損傷や車種別専用ハーネスのヒューズ切れを起こす恐れがあります。
- ・すべての窓を閉めてください。
- ・すべてのドアを施錠(ロック状態)してください。
- ・坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。

❗ 必ずボンネットが閉まっている状態で使用してください。

エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。

❗ 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください

- ・ ボンネットを開けるとき
- ・ 整備や車検などで車両を第三者に預けるとき
- ・ 本機の使用方法を理解されていない方が運転するとき
- ・ 長期間車両を使用しないとき

⊘ 車両のボディカバーをかけたまま使用しないでください。

発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。

⊘ 換気の悪い車庫や屋内では、使用しないでください。

排気ガスによる中毒の恐れがあります。

⊘ マフラーが雪で覆われるような降雪時に使用しないでください。

排気ガスが車内に充満して大変危険です。

⊘ 暖機運転の直後にエンジン点検などを行わないでください。

火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。

⊘ 車両の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しないでください。

発火の恐れがあります。

●ボタン電池について

⚠ 警告

⊘ リモコンのボタン電池は、お子様の手の届く場所に保管しないでください。

誤飲の恐れがあります。

❗ 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動してください。本機でエンジンを始動させた状態では走行できません。

エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルモーターの再飛び込みなど車両を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車両の安全装置が働かないまま動き出すなどの事態をまねく危険性があります。

❗ 車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。

⊘ むやみに操作ボタンを押さないでください。

リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります。

⊘ 本機でエンジンを始動した際は、シフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしないでください。

エンジンスターターの安全機能が働かず、思わぬ事故につながる場合があります。

⊘ お子様やペットなどを車両に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。

室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。

⚠ 車両純正装備のストップランプが白熱球の場合、LEDストップランプへ交換すると、フットブレーキ検出機能が使用できないことがあります。

⚠ 注意

❗ 付属のボタン電池は、動作確認用のサンプルです。

短時間の使用しかできませんので、お早めに新品の電池と交換してください。

❗ ボタン電池を充電したり、分解しないでください。

破損や発火、故障の原因となります。

⊘ ボタン電池の極性（+、-）を正しく入れてください。

⊘ 指定以外のボタン電池は使用しないでください。また、新品と使いかけボタン電池を同時に使用したり、ブランドが異なるボタン電池を同時に使用しないでください。

⊘ 長時間ご使用にならない場合は、ボタン電池を外して保管してください。

ボタン電池が液漏れを起こし、本機を故障させることがあります。また、衣類などを汚す原因となります。液漏れしたときには、本機についた液をよく拭き取ってから、新しいボタン電池と交換してください。

⊘ 使用済みのボタン電池を火中に投げ入れないでください。

爆発して火災や火傷の原因となります。

⊘ ボタン電池を鍵やネックレス、コインなどの金属小物と一緒にポケットなどに入れないでください。

感電、ショートの原因となります。

●お手入れについて

⚠ 注意

⊘ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

⊘ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



- ・ 一般公道での使用、締め切った場所での使用はおやめください。
- ・ 地域により車両の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。
- ・ 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については、当社は一切その責任を負いません。

使用上のご注意

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機を使用中、車両の盗難・車上あらし・イタズラ等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによる車両の変色・変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。

電波法に関する注意

- ・リモコンやジャンクションユニットの技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- ・海外では使用しないでください。
- ・分解したり改造したりすることは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

本機の機能に関する注意

- ・オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車※の一部では、本機のコンライトキャンセル機能が使用できない場合があります。その場合、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動した場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあととも消灯しません。
 - ※ 暗くなると、自動的にライトが点灯するシステムです。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、通信範囲が狭くなることがあります。
- ・オプション対応のドアロック（施錠）／アンロック（解錠）機能は、ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドアロック・アンロックができない場合があります。また、電池が完全に消耗してしまうとリモコン操作ができなくなりますので、車両のキーは必ず携帯してください。キーでエンジンをかけているときは、リモコンからの操作は無効となります。また、本機は特定小電力無線を使用しているため、純正キーレスに比べてリモコン操作からロック／アンロックまでに時間がかかると感じる場合があります。
 - ※ 車両から離れるときは、ドアのロックを確認してください。

ご使用にあたっての注意

- ・車両から降りる際にワイパーなどの電源をOFFにしてください。ワイパーの凍結などで過大な負荷がかかると、車種別専用ハーネスのヒューズが切れたり、車両を故障させることがあります。
- ・リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
- ・リモコンは簡易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
- ・リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ・リモコンを次のような場所に放置しないでください。
 - 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
 - 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
 - ホコリや油煙の多い場所。
 - 非常に温度の低い場所。
- ・リモコンから通信を行うのと同時にジャンクションユニットからも通信が行われた場合、正常に通信できないことがあります。
- ・リモコン操作時、周囲に同じ周波数帯の電波が存在する場合、正常に通信できない場合があります。
- ・リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。
- ・ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、アイドリング中にドアのロック／アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作してください。
- ・オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・ドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
- ・助手席にチャイルドシートを装着しているなどシートベルトが差し込まれた状態では、アイドリング中に本機のリモコンでドアのロック／アンロックができないことがあります。
- ・本書に記載のある付属や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げ日から3年間の保証がついています。（ただし、リモコンは1年間の保証、リモコン用電池などの付属や消耗品は保証の対象となりません。）

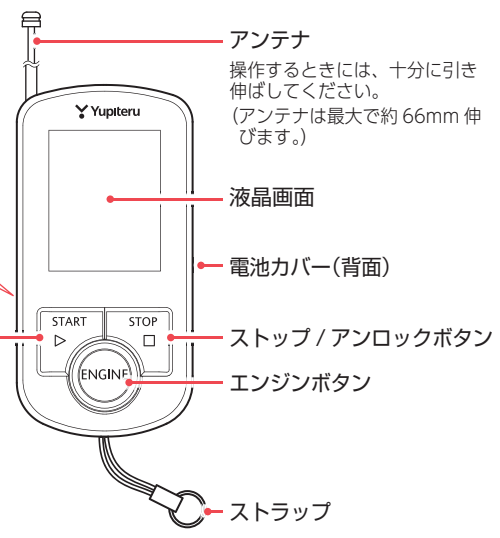
各部の名称と働き

■ リモコン

技術基準適合証明ラベル

001-UJXXXX 型式 DE065AR (株)ユピテル
機種名 S/No. XXXXXXXX

技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。
はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

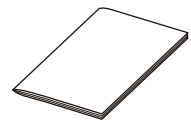
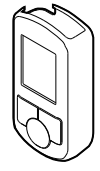


- センサーハーネス 1 個
- ブラケット 1 個 (アンテナユニット用)
- 両面テープ 1 個 (アンテナユニット用)
- エレクトロタップ 2 個
- タイラップ 1 個
- 保護シート 1 枚
- 温度センサ 1 個 (約 1 m)
- ご注意ステッカーシート 1 枚

1. 付属

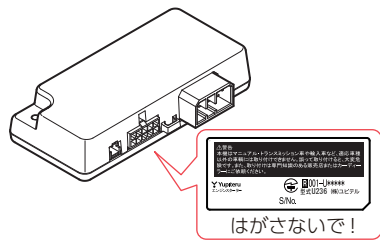
ご使用(取り付け)前に付属をお確かめください。

- シリコンジャケット 1 個
- リモコン用電池 CR2032 2 個
※ リモコンに装着済
- 取扱説明書 / 保証書 1 部



以下の部品は車両に取り付けられています。

- ジャンクションユニット 1 個
- アンテナユニット 1 個 (約 3m)



2. 別売品

別売品との併用で、本機の機能がさらにアップします。

※ 別売品については、予告なく仕様を変更したり、販売を終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

■ キーレスエントリー A-17SF

離れた場所から、本機リモコンでドアロック / アンロックができます。

※ 適応車種限定…詳しくは、車種別専用ハーネス適応表をご参照ください。

※ 他の別売品のアダプターやドアロックハーネスが必要となる場合があります。

■ ハザード制御 A-18SF

本機でのエンジン始動時、ハザードランプを 3 回点滅させてエンジンがかかったことをお知らせします。また、本機でのドアロック / アンロック時に、ハザードランプを点滅 (1 回 / 2 回) させることができます。

■ イモビ対応アダプター

イモビ対応アダプターを接続すれば、本機のリモコンでエンジンを始動するときだけ、イモビライザーを解除します。車両イモビライザー機能を損なうことがありませんので、安心してご使用いただけます。

※ 適応車種限定…詳しくは、車種別専用ハーネス適応表をご参照ください。

■ コンライトキャンセル A-60

オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、車両のバッテリー上がりを防ぐことができます。

※ 一部の車両では、コンライトキャンセル機能が正常に機能しない場合があります。

■ ドア検出 A-60

本機が動作中にドアを開けると、エンジンを停止させることができます。

※ ターボタイマー機能が動いているときは、エンジンは停止しません。

3. 付属・別売品の購入について

・ 付属や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX (機種名) 用 ○○ (必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

・ 弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。
詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

各機能について

1. 安全機能

本機には、次の安全機能があります。

■ P・ポジション自動検出

シフトレバーがパーキング (P) またはニュートラル (N) ポジション以外のおときは、本機によるターボタイマー機能は動作しません。エンジンの始動はまた、リモコンによる始動後、キーを差し込んだだけの状態 (ON ポジションまで回さない状態) でシフトチェンジすると、エンジンが停止します。



※ 一部の車両では、P・ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたは P・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。また P・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング (P) の位置以外ではエンジンを始動できません。

■ コンライトキャンセル機能 (● P.12)

(別売品: A-60 を使用して、車両に取り付けてください。)

■ ドア検出 (● P.12)

(別売品: A-60 を使用して、車両に取り付けてください。)

■ 誤動作防止 ID コード

1 億通りの中から商品ごとに個別 ID コードを設定。他の電波による誤動作を防止します。

■ エンジン自動停止機能

本機でエンジン始動後、設定した時間を経過するとエンジンが自動停止します。

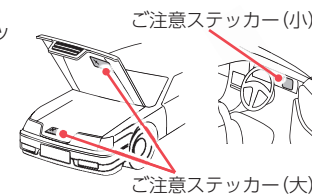
■ ダブルアクション操作

2 つのボタンの組み合わせによるツータッチ操作なので、ポケットやバックの中での誤操作を防ぎます。

⚠ 警告

- ・ 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車両を預けるときは、リモコンの電池を抜いてください。

- ・ 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー (大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー (小)」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



2. スリープ機能

車両を使用しない状態が14日間以上続くと、車両のバッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除するときは、一度、車両本来の操作（キー操作など）でエンジンを始動させてください。

※ 本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いてください。



■ 車両のバッテリーとエンジンスターター始動の関係

車両のバッテリーの性能が低下しているときは、車両のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

※ 寒冷地などでは始動判定方法選択（●P.72）を「特殊判定」にしても、再始動を繰り返す場合は、オルタネータ線（白線）の接続が必要です。

※ 車両のバッテリー交換を行った場合は、再度P・ポジション検出（●P.38）が必要です。

3. オートストップ機能

車両の不要なアイドリングを防止するため、アイドリング中に予め設定した温度に車内温度が到達した場合、アイドリングを自動的に停止します。

オートストップ機能を使用するには、アイドリング時間の設定で「オートストップ」に設定し、オートストップ設定（●P.69）で温度を設定してください。

- ・オートストップ機能が設定されている場合、アイドリング延長機能は無効になります。
- ・最大アイドリング時間は30分です。
- ・エンジン始動時の車内温度が設定温度に対して±2℃以内の場合、アイドリング時間は5分に固定されます。

4. ターボタイマー機能

走行後のアフターアイドリングを自動的に行う機能です。

なお、本機はこのターボタイマー機能を使う（ON）使わない（OFF）を設定できます。アフターアイドリングの時間はオート方式です。

■ ターボタイマー機能の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンのシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能は、パーキング（P）またはニュートラル（N）にシフトチェンジされると動作を開始し、キーを抜いたあと、アフターアイドリングを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

※ ターボタイマー機能は、シフトレバーがパーキング（P）または、ニュートラル（N）の位置でないとき動作しません。ただし、P・ポジション検出ができない車両でP・ポジションインジケータランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング（P）の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

※ ターボタイマー機能は、動作開始から約1秒後にACC電源がONになる仕様となっております。

※ ターボタイマー動作のキッカケとして、キーOFF時に一度、ACCがOFFになりますが、車両本来の動作とするため、ACC電源を再度ONに戻しています。

■ ターボタイマー機能の設定

本書「エンジンスターターの設定」でターボタイマー機能のON/OFFを設定できます。「ターボタイマーの設定」（●P.69）

■ ターボタイマー機能を使用する

ターボタイマー機能をONに設定し、シフトレバーをパーキング（P）またはニュートラル（N）にすると、自動的にアフターアイドリング動作を開始します。

※ アフターアイドリング中に、リモコンでエンジン停止の操作を行うと、エンジンは停止します。

※ 給油等でアフターアイドリングが必要ないときは、リモコンでエンジンを停止するか、フットブレーキを踏んで、いったんシフトレバーをDまたはRの位置にすると、エンジンを停止させることができます。

■ オート方式のアフターアイドリング時間

走行時間にあわせて、アフターアイドリングの時間が自動的に変化します。

走行時間	アフターアイドリング時間
0分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※ 走行時間は、シフトレバーがパーキング（P）またはニュートラル（N）以外の位置に移動している時間をカウントしています。

※ ターボタイマー機能のアフターアイドリング時間は、パーキングポジション（P）検出から開始します。

⚠ 注意

- ! ご使用になる車種により、まれに正常にはたらかないことがあります。このようなときは、ターボタイマーの設定を解除してご使用ください。

※ カーラジオのON/OFFに連動して、アンテナが昇降する車両では、ターボタイマーが動いてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

梱包内容の確認

取り付け前に梱包内容をお確かめください。(P.10)

取り付けの前に(安全上のご注意)

警告

- 安全のため、取り付けはお買い求めいただいた販売店様やカーディーラー様に依頼ください。
 - 本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としております。
 - お客様ご自身での取り付け作業に対するサポートは行っておりません。
 - お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。
- 本機を取り付けられる車両は車種別専用ハーネス(別売品)を使用できる車種のみです。
- 適応する車種別専用ハーネスがわからない場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。
- 次の3つの条件を満たしている車両に取り付けられます。
 - 車種別専用ハーネスの設定がある車両
 - オートマチック車(AT または CVT)
 - 12V 車で、アースの車両
- 取り付け作業は、必ずエンジンがさめている状態のときに行ってください。火傷する恐れがあります。
- ジャンクションユニットの取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。
- ジャンクションユニットは、取り付け・接続後、しっかりと固定してください。運転中に落下すると大変危険です。
- マニュアル(MT)車、外国車には、取り付けできません。
- エアバッグシステムの配線およびコネクタには触れないでください。また、エアバッグの動作の支障となる場所に取り付けたり、配線しないでください。エアバッグが正常に作動しなかったり、事故やケガの原因となります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や火災の原因となります。

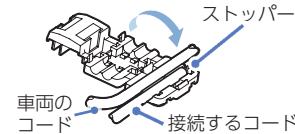
注意

- 市販品のターボタイマーと併用することはできません。
- オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・ドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
- ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、本機によるアイドリング中にドアのロック/アンロックができないことがあります。このようなときは、車両のキーで操作してください。
- ターボタイマー機能は、ご使用になる車両により、まれに正常に働かないことがあります。このようなときは、ターボタイマー機能を「OFF」にしてご使用ください。
- イグニッションキースイッチのバラツキが大きく、エンジンスターター使用時にセルが回り続ける車両では使用できません。

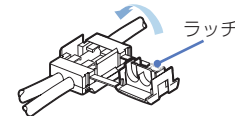
1. エレクトロタップの使いかた

各検出線は、以下の手順で接続してください。

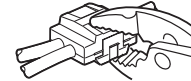
- 1-1 各検出線を図のストッパーに突きあて、車両のコードを通して矢印のように折り返す



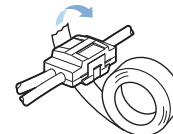
- 1-2 もう一度、矢印のように折り返す



- 1-3 プライヤーなどで、ラッチが噛むまで締め付ける



- 1-4 絶縁テープを巻く

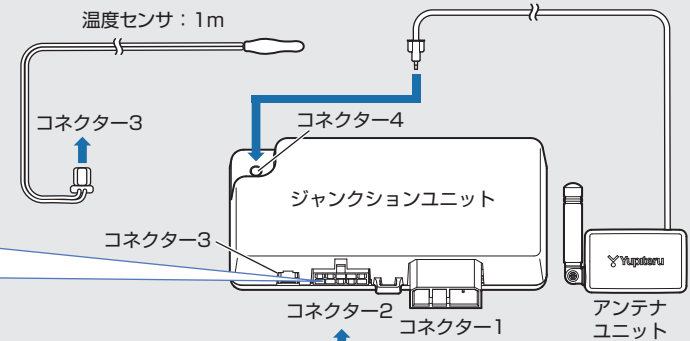
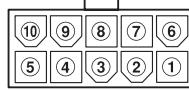


※ 接続された箇所(エレクトロタップ部)は、ショートや振動などにより、車両のスターター系にトラブルを起こす原因となることがあります。必ず絶縁テープでテープピンギしてください。

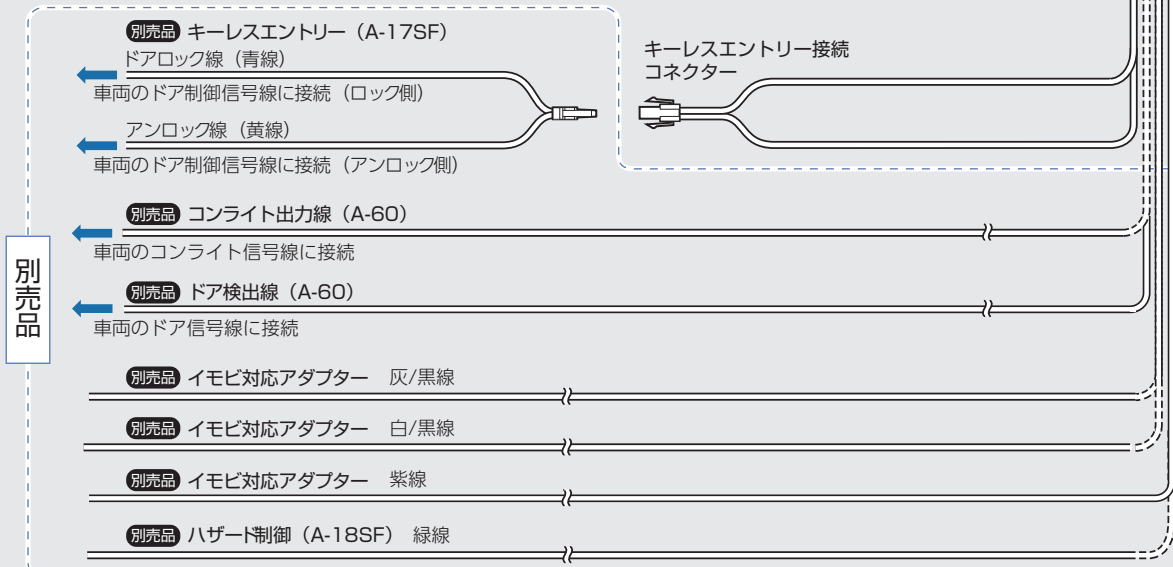
基本接続図

コネクタ-2の接続ポイント

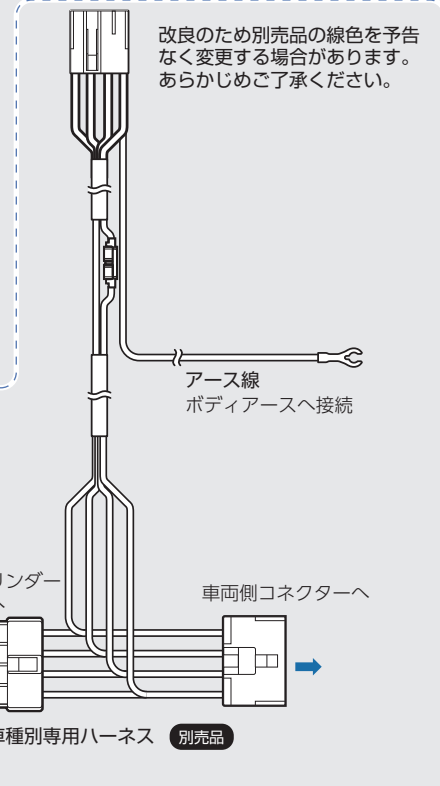
1 (空)	別売品	ドア検出線 (A-60) を接続
2 (空)	別売品	イモビ対応アダプターの灰/黒線 (イモビA) を接続
3	白	オルタネータ線
4	黄	ドアアンロック線
5 (空)	別売品	コンライト出力線 (A-60) を接続
6	茶	ブレーキ検出線
7 (空)	別売品	イモビ対応アダプターの白/黒線 (イモビB) を接続
8 (空)	別売品	イモビ対応アダプターの紫線を接続
9	青	ドアロック線
10 (空)	別売品	ハザード制御 (A-18SF) の緑線を接続



- オルタネータ線 白線
注意 弊社車種別専用ハーネス適応表で条件としている車種や、エンジン始動確認ができずエンジン始動後に再始動を繰り返してしまう場合は、車両のオルタネータ(L端子)ケーブルに接続してください。
- ブレーキ検出線 茶線
注意 Pポジション検出ができない場合や、ブレーキ検出線の接続が使用条件として指定されている場合のみ配線します。詳しくは販売店様向けの弊社車種別専用ハーネス適応表をご参照ください。



別売品



取り付け・接続

取り付けと接続

以下に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

ご注意..... 記載の内容は、標準的な車両での取り付け手順です。ご使用の車種や別売品によっては、記載の手順と異なる場合があります。弊社車種別専用ハーネス適応表にて品番や指定条件をご確認ください。

警告

安全に作業をしていただくため、取り付ける前に次の4つのことを必ず守ってください。



- ・シフトレバーをP・ポジションにする
- ・車両のキーを抜く
- ・パーキングブレーキを確実にかける
- ・ショート事故やエアバッグの誤動作防止のため、車両のバッテリーのマイナス端子を外す

ご注意..... ナビゲーションシステムやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーのマイナス端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

■ 取り付け場所について

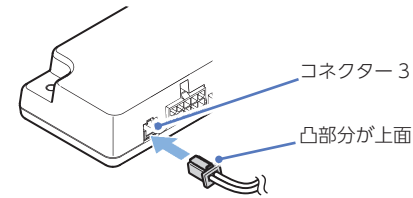
以下のような場所に絶対に取り付けないでください。

- ・水がかかったり、熱風が当たる場所
- ・他の機器のアンテナの近くや金属など障害物の影
- ・視野の妨げになったり、運転操作に支障をきたす場所
- ・エアバッグの近く

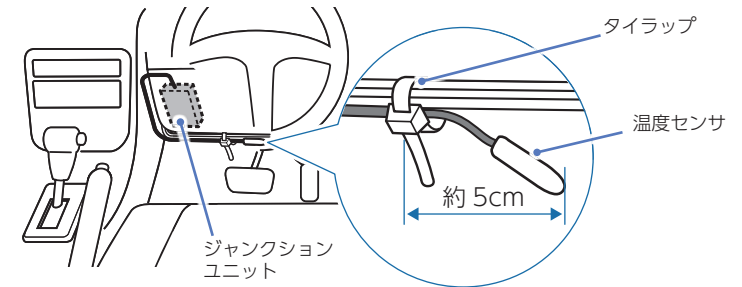
1. 温度センサの接続

温度センサをジャンクションユニットのコネクター3に接続し、本機リモコン操作でエンジン始動操作やエンジンの状態確認操作を行うと、エンジンの始動や状態表示に加えて、車室内温度を液晶画面に表示します。

1-1 温度センサをジャンクションユニットのコネクター3に接続する



1-2 先端から5cmくらいのところをタイラップで固定する



- ※ 温度センサは先端部分が温度感知部になっています。ケーブルは切断せずに配線してください。
- ※ 先端部（温度感知部）が他の配線やパネルに接触しないように少し浮かせて取り付けます。また、発熱する電子機器やエアコンの送風口から離れた場所に取り付けてください。
- ※ 車室内は場所により温度差があります。なるべく直射日光の当たらない場所に取り付けてください。

2. アンテナユニットの取り付け

アンテナユニットは、ルームミラー、ダッシュボード、フロントガラスと天井のすき間に両面テープで取り付けることができます。

※ あらかじめ貼り付ける場所のチリや汚れ、脂分をよく落とししたあと、慎重に作業してください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。

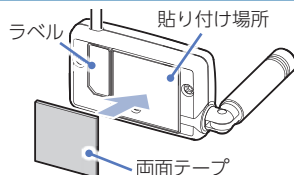
⚠ 注意



- ・取り付けにより、車両・内装部品やダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、車両への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。本機や車両の破損の原因となります。
- ・防水構造ではないため、ルーフなどの車外に設置しないでください。

付属の両面テープの保護シートを片面だけをはがし、アンテナユニットの底面にしっかり貼り付けます。

※ 両面テープは、ラベルに重ならないように貼り付けてください。

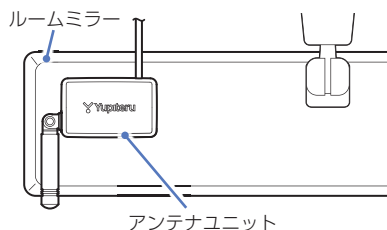


通信距離を広げたい場合は、アンテナを地面に対してできるだけ垂直に立ててください。(アンテナが車体に触れないようにしてください。)

■ ルームミラーに取り付ける場合

2-1 アンテナユニットをジャンクションユニットのコネクター4に接続する

2-2 アンテナユニットをルームミラー裏面の適切な場所に取り付ける



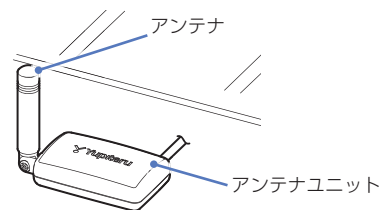
両面テープの残りの保護シートをはがし、ルームミラー裏面にしっかり固定します。

※ アンテナユニットは、車両の金属部分から5cm以上離して貼り付けてください。通信距離が短くなったり、通信が不安定になることがあります。

■ ダッシュボードに取り付ける場合

2-1 アンテナユニットをジャンクションユニットのコネクター4に接続する

2-2 アンテナユニットをダッシュボード上の適切な場所に取り付ける



両面テープの残りの保護シートをはがし、ダッシュボードにしっかり固定します。

※ アンテナの近くに金属(ピラー)などがあると、通信距離が短くなります。車両の金属部分から5cm以上離して貼り付けてください。

※ 直射日光の当たる場所では、本体内部が高温となるため安定した通信が行われなかったりすることがあります。

■ フロントガラスと天井のすき間に取り付ける場合

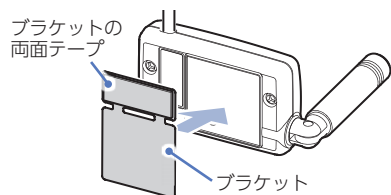
⚠ 注意



- ・記載以外の取り付け方法は、保安基準に適合しない場合があります。フロントガラスと天井のすき間に取り付ける場合は、記載の取り付けを確実に行ってください。
- ・運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。

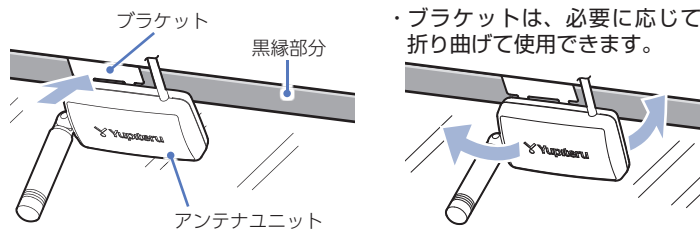
2-1 アンテナユニットをジャンクションユニットのコネクター 4 に接続する

2-2 アンテナユニットにブラケットを取り付ける



両面テープの残りの保護シートをはがします。ブラケットの両面テープがフロントガラス側になるように、ブラケットを取り付けます。

2-3 ブラケットをフロントガラスと天井のすき間に取り付ける



・ブラケットは、必要に応じて折り曲げて使用できます。

ブラケットの両面テープの保護シートをはがします。ブラケットをフロントガラスと天井のすき間に差し込み、貼り付けます。

※ アンテナユニットは、車両の金属部分から 5cm 以上離して貼り付けてください。通信距離が短くなったり、通信が不安定になることがあります。

ガラス面（透明部分）には貼り付けしないでください。保安基準に適合しなくなり処罰の対象となります。

3. 別売品のイモビ対応アダプターなどの接続

※ 車両側配線に接続する場合は、必ずテスターを使用してください。

■ イモビ対応アダプター等の接続

イモビライザー装着車やプッシュスタート車の場合は、対応するアダプターの接続が必要です。

※ 取り付け・接続に関しては、イモビ対応アダプターに付属の説明書をご確認ください。

ご注意..... イモビ対応アダプター等を使用しない場合は、取り付けません。

⚠ 重要

あらかじめ取り付ける車種にブレーキ検出線の指定があるか確認してください。

- ・ブレーキ検出線の接続条件は、車種別専用ハーネス適応表にてご確認ください。
- ・イモビ対応アダプター取り付け車の場合は、車両と接続しないことがあります。必ずアダプターに付属の説明書に従って作業を行ってください。

■ オルタネーター線の接続

- ・車種別専用ハーネス適応表でオルタネータ線の接続が指定されている車種の場合は、必ずオルタネータ線を接続してください。
- ・車種や電装品によっては、始動判定方法選択を「特殊判定」に変更してもエンジンの始動確認ができず、再始動を繰り返すことがあります。このような場合は、オルタネータ線を接続することで、より確実な始動判定を行うことができます。
- ・グロー時間を 7.0 秒や 10.0 秒にする場合は、オルタネータ線を接続してください。

オルタネータ線の接続

接続先は車種により異なります。販売店様向けの接続情報をご確認ください。

※ 多くの車種は、キー ON 時（エンジン始動前）に 0 ~ 2V、エンジン始動後に約 6V 以上となる車両配線（L 端子）が接続先になります。

※ 接続後には、接続部を必ず絶縁テープでテーピングしてください。

■ ドアロック / アンロック線の接続：キーレスエントリー(A-17SF)

センサーハーネスのキーレスエントリー接続コネクタにキーレスエントリー：A-17SF (別売品) を接続します。ただし、車種ごとにコントロールが異なるため、別売品の接続が必要となる場合があります。詳しくは弊社エンジンスターター車種別専用ハーネス適応表でご確認ください。

■ コンライト出力線の接続：コンライト出力線(A-60)

・コンライト出力線を接続する前に

ライトスイッチを AUTO にし、エンジンを始動してください。
次に車両を暗い場所または照度検出センサに光が入らないようにしてください。
その後エンジンを切り、ドアを開けたときにライトが消灯しますか？消灯しない車両は、コンライト制御はできません。

※ エンジンを切ると同時にライトが消灯する場合は、コンライト出力線 (別売品) を接続する必要はありません。

3-1 コンライト出力線の接続先を探す

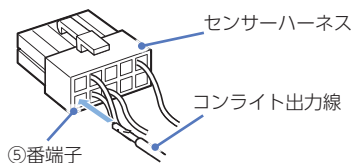
・コンライト出力線の接続先

ほとんどの場合、ドアスイッチの配線に接続します。
一部車種ではドアスイッチの配線が 3～4 本の車種もあり、判断しにくい場合があります。このようなときには、コンライト使用状態にし、各線をアースに
おとして、コンライトが消灯した線に接続してください。

3-2 エレクトロタップを使って、コンライト出力線を接続する (P.17)

※ 接続後には、接続部を必ず絶縁テープでテーピングしてください。

3-3 コンライト出力線をセンサーハーネスの⑤番端子にしっかりと差し込む

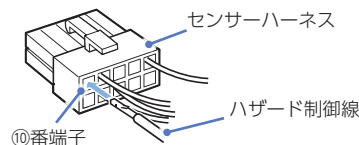


3-4 端子の接続が完了したら、センサーハーネスをジャンクションユニットのコネクター 2 に接続する

■ ハザード制御の接続：ハザード制御(A-18SF)

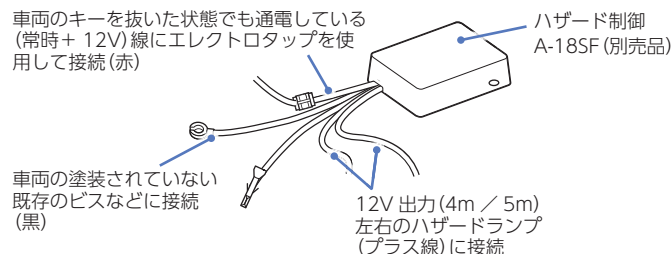
本機のリモコン操作でエンジンを始動すると、エンジン始動検出後にハザードランプを 3 回点滅させてお知らせします。また、本機によるエンジン始動中にも、リモコン操作によりアイドリング状態 (3 回点滅) の確認ができます。

3-1 ハザード制御：A-18SF(別売品)のハザード制御線(ピン端子付緑線)を本機センサーハーネスの⑩番端子にしっかりと差し込む



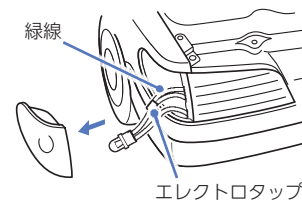
3-2 ハザード制御：A-18SF(別売品)の+電源、アース線、ハザードランプ線を接続する

車両のキーを抜いた状態でも通電している (常時 + 12V) 線にエレクトロタップを使用して接続 (赤)



・ピン端子のない緑線は、それぞれ左右のハザードランプに接続します。

緑線 (2 本：4m と 5m) は長さ異なります。2 本の長さを比べ、短い方 (4m) をメインユニットに近いランプに接続してください。また、車両によっては左右、前後が別系統の配線になっていることがあります。このような場合は、緑線を分岐して各ランプに接続してください。



※ エレクトロタップの接続は、P.17 を参照してください。
接続後には、接続部を必ず絶縁テープでテーピングしてください。

※ ハザードランプの制御はエンジンスターターが行いますので、緑線 (4m と 5m) は直接左右のハザードランプに接続してください。

3-3 端子の接続が完了したら、センサーハーネスをジャンクションユニットのコネクター 2 に接続する

■ ドア検出線の接続：ドア検出線(A-60)

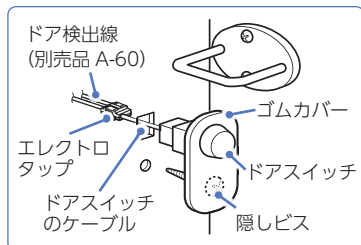
車両のドアスイッチケーブルなどに接続することにより、ドアを開けたときにアイドリングを停止させることができます。

3-1 ドア検出線の接続先を探す

※ 接続先はサーキットテスターで確認してください。
(ドア開時…0V、ドア閉時…12V)

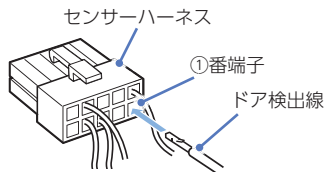
3-2 エレクトロタップを使って、ドアスイッチケーブルなどにドア検出線を接続する

ドア部詳細



- ※ エレクトロタップの接続は、P.17を参照してください。接続後には、接続部を必ず絶縁テープでテーピングしてください。
- ※ 一部の車種では、ドア内にスイッチが入っています。このような場合は、ルームランプなどのドアに連動して信号が発生するケーブルに取り付けてください。
- ※ ルームランプなどの信号線にドア検出線を接続する場合は、ドアが開いた状態で必ずルームランプが点灯するように、ルームランプスイッチを設定してください。

3-3 ドア検出線を、センサーハーネスの①番端子にしっかりと差し込む



3-4 端子の接続が完了したら、センサーハーネスをジャンクションユニットのコネクター2に接続する

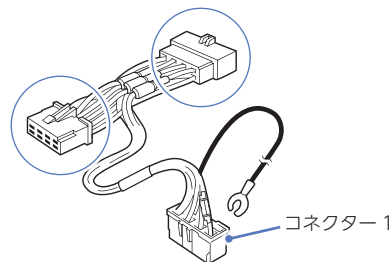
4. 車種別ハーネス(別売品)の接続

本機はマニュアル・トランスミッション(MT)車や輸入車など、適応車種以外の車両には取り付けできません。誤って取り付けると、大変危険です。また、取り付けは専門知識のある販売店様またはカーディーラー様にご依頼ください。

⚠ 注意

- ・ 走行中の振動などでコネクターが抜けないよう、しっかりと接続してください。
- ・ 配線類は、噛み込みや被覆の摩擦によるショートを防ぐため、ステアリングシャフトやチルト機構、シフトレバー等の可動部を避け処理を行ってください。
- ! ・ アース線は、オーディオやナビゲーションなど、他の電装品と同じビスなどに取り付けしないでください。機器が誤作動したり、オーディオのメモリーが消失する恐れがあります。
- ・ 車体金属部やネジ、エッジ部分に接触する可能性がある配線は、付属の保護シートで配線の保護を行ってください。

4-1 車種別専用ハーネス(別売品)を接続するコネクターを探す



※ 形状は、専用ハーネスの車両側のコネクター(○印部)を参考にしてください。

4-2 車両側のコネクターを外し、外したコネクター間を専用ハーネス(別売品)で接続する

4-3 専用ハーネス(別売品)から出ているアース線を、車両の塗装されていない既存のビスなどにしっかりと共締めする

車種別ハーネス(別売品)をジャンクションユニットに接続する際は、「5. P・ポジション検出」へ進んでください。

5. P・ポジション検出

本機は、P・ポジション検出をしないと動作しません。

接続が正しく行われていることを確認し、車両のバッテリーのマイナス端子を繋いでください。

⚠ 重要

P・ポジション検出の手順は、取り付ける車両により異なります。以下の項目を確認し、該当するP・ポジション検出手順にお進みください。

※ ブレーキ検出線の接続条件は、弊社エンジンスターター車種別専用ハーネス適応表をご確認ください。

※ イモビ対応アダプター取り付け車の場合→ブレーキ検出線の指定条件が異なります。

■ ブレーキ検出線の指定がない場合

『手順 A』(☛ P.31)へ進んでください。

■ ブレーキ検出線の指定があり、ターボタイマー機能を使用する場合

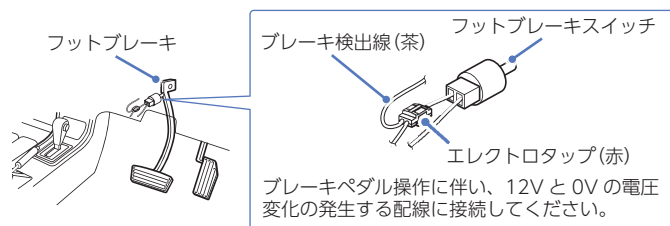
- ① ブレーキ検出線をパーキングポジションインジケータ線に接続する
- ② 『手順 A』(☛ P.31)へ進んでください。

■ プッシュスタート対応アダプター取り付け車の場合

『手順 B』(☛ P.32)へ進んでください。

■ ブレーキ検出線の指定があり、ターボタイマー機能を使用しない場合

- ① ブレーキ検出線をフットブレーキ線に接続する



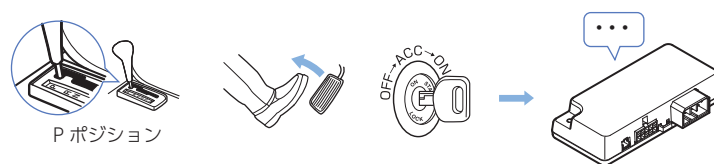
- ② 『手順 B』(☛ P.32)へ進んでください。

手順 A：シフトレバー操作によるP・ポジション検出

A-1 車種別専用ハーネス(別売品)をジャンクションユニットのコネクター1に接続する

ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。

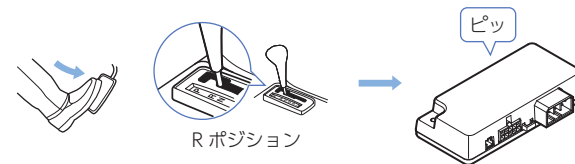
A-2 シフトレバーがパーキング(P)・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルから足を離したまま、エンジンキー(エンジンスイッチ)をOFF→ACC→ONと切り替える



ジャンクションユニットで鳴っている『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』音が止まります。

※ ブレーキペダルを踏んだままエンジンキーをONにすると、正しく設定できないことがあります。

A-3 ブレーキペダルを踏み、シフトレバーをパーキング(P)・ポジションからリバース(R)・ポジションに切り替える



約3秒後に『ピッ』音が鳴ります。

A-4 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをパーキング (P) ・ポジションに戻す

『ピー』または『ピロロロ…』音が鳴ります。

A-5 ブレーキペダルから足を離す

上記手順で P ・ポジション検出ができない場合は、ブレーキ検出線をフットブレーキ線に接続し、手順 B の設定を行ってください。

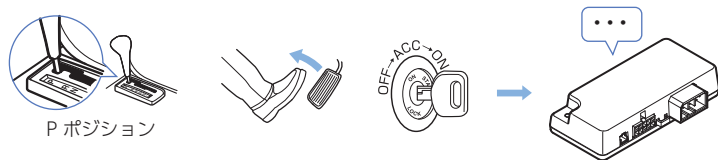
以上で P ・ポジション検出は終了です。

手順 B : ブレーキペダル操作による P ・ポジション検出

B-1 車種別専用ハーネス (別売品) をジャンクションユニットのコネクター 1 に接続する

ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』音が鳴ります。

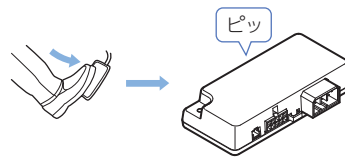
B-2 シフトレバーがパーキング (P) ・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルから足を離したまま、エンジンキー (エンジンスイッチ) を OFF → ACC → ON と切り替える



ジャンクションユニットで鳴っている『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』音が止まります。

※ ブレーキペダルを踏んだままエンジンキーを ON にすると、正しく設定できないことがあります。

B-3 ブレーキペダルを踏む



ジャンクションユニットから『ピッ』音が鳴ります。

B-4 ブレーキペダルから足を離す

ジャンクションユニットから『ピロロロ…』音が鳴ります。

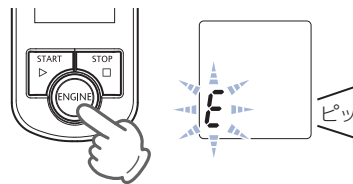
以上で P ・ポジション検出は終了です。

6. エンジン始動および停止の確認

⚠ 重要

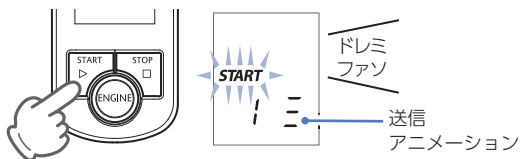
イモビライザー装備車やプッシュスタート車の場合、アダプターに付属の説明書を参照のうえ、ID の登録を行ってください。

6-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで エンジンボタンを押す



"E" が点滅します。

6-2 "E"が点滅中(約3秒間)に、『ドレミファン』が鳴るまでスタートボタンを押す



"START" が点灯し、送信アニメーションが表示され、信号を送信します。

エンジンが始動します。

アイドリング中はジャンクションユニットから断続音が鳴り続けます。(本機でエンジンを始動させたことを知らせます。)

※ 始動しなかったときは、リトライ機能が働きます。(●P.51)

※ 始動後、設定されている時間が経過すると自動的にエンジンは停止します。

● P.68 [アイドリング時間の設定]

・ エンジンの始動確認ができず再始動(リトライ)を繰り返す場合や、エンジンが始動してもしばらくすると停止する場合

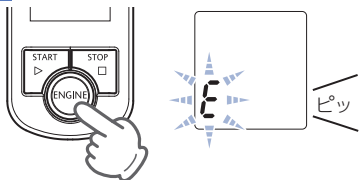
始動判定方法選択を「特殊判定」に変更してください。(●P.72)

・ 始動判定方法選択を「特殊判定」に変更しても再始動を繰り返す場合
オルタネータ線の接続が必要です。

・ エンジンが始動しない場合

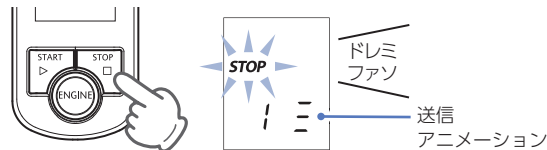
通信が正常にできない場合、エラー音「ピー」が鳴り、"E"が点滅します。取り付け状態やエンジンスターターの設定を再度ご確認し、電波の届く範囲で、エンジンを始動してください。(●P.41 [2. リモコンの上手な使い方])

6-3 操作確認音「ピッ」が鳴るまで エンジンボタンを押す



"E" が点滅します。

6-4 "E"が点滅中(約3秒間)に、『ドレミファン』が鳴るまでストップボタンを押す



"STOP" が点灯し、送信アニメーションが表示され、信号を送信します。

エンジンが停止します。

以上でエンジン始動および停止の確認は終了です。

7. ジャンクションユニットの取り付け

⚠ 注意

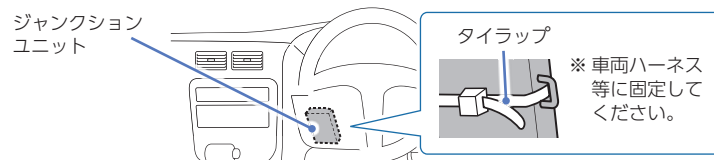
ジャンクションユニットは、タイラップや両面テープなどを使用して、運転の妨げとならないように、センターコンソールまたは、インパネのアンダーカバーの内側などにしっかりと固定し、タイラップなどを使用して配線処理をしてください。



その他の場所に設置する場合は、次のような場所は避けてください。

- ・ エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・ 直射日光の当たる場所。
- ・ 不安定な場所。

7-1 ジャンクションユニットを市販品の両面テープを使って仮取り付けした後、固定する



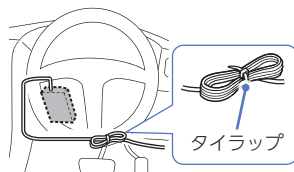
※ 走行中の振動で容易に外れないように付属のタイラップで、ジャンクションユニットを固定してください。

8. 配線処理について

すべての取り付けが終わったら、以下の要領で配線処理をしてください。
配線処理は、ケーブル類の長さ、配線場所などを十分考慮して決めてください。

■ タイラップなどによる配線処理

ダッシュボード内を通るケーブル類は、既存のハーネスなどに市販品のタイラップを用いて共締めします。余分なケーブルは束ねて共締めしてください。



■ ドアのすき間から車内に線を引き込んだ場合

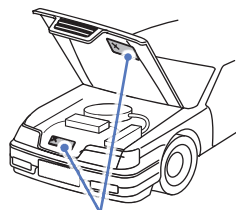
ドアの開閉時に線を噛まないように少したるみをもたせて配線処理をしてください。

9. 「ご注意ステッカー」の貼り付け

本機を取り付けた車両を、第三者が使用した場合にも安全にお使いいただくため、付属のステッカーを必ず貼り付けてください。

■ ご注意ステッカー(大)の貼り付け

ボンネットの裏側で、エンジンの熱を直接受けない場所に目立つように貼り付けます。(ワンボックスカーの場合はエンジンルームの開閉カバー)



ご注意ステッカー(大)

■ ご注意ステッカー(小)の貼り付け

ボンネットオープナーなどに目立つように貼り付けます。(ワンボックスカーの場合はエンジンルームのオープナー)



ご注意ステッカー(小)

必要に応じてセル時間、アイドル時間、ターボタイマー機能の ON/OFF 等を設定します。(● P.66 「エンジンスターターの設定」)
設定後、エンジンの始動、ドアロック動作、ターボタイマーの動作を確認します。

⚠ 警告



- エアバッグ上やエアバッグの妨げとなる場所に取り付けたり、配線しないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。
- 運転や視界の妨げにならない場所、または自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付け・配線をしてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠ 注意



- 取り付けは確実に行ってください。落ちたりしてケガの原因となります。
- 地域により車両の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。

お願い

車両の引き渡し時には、お客様に接続・設定の状況と操作の説明、特に安全機能の説明を十分に行ったうえで、本書をお渡しください。

車内で『ピピピッ ピピピッ』と鳴っている場合

車両のバッテリー上がりや交換、車種別専用ハーネスの取りはずし等で常時電源が断たれた場合は、ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ…』が鳴り、P・ポジションの設定がリセットされたことを知らせます。

※ P・ポジションがリセットされると、リモコン操作がエラーとなり、本機によるエンジン始動ができません。

※ 本機への常時電源が断たれた場合でも、本機に登録された設定内容は消去されません。

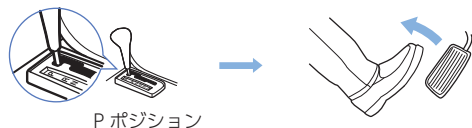
下記の手順で P・ポジションの検出・設定を行ってください。

1. P・ポジション検出の設定手順

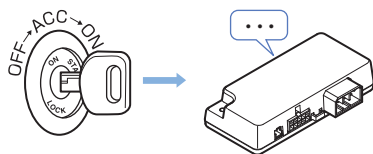
『ピピピッ ピピピッ ピピピッ…』音が鳴っている状態で、以下の手順で設定を行ってください。

※ 何も音が鳴っていない場合は、車種別専用ハーネスの取り付け状態やアース線の接続場所を再度確認してください。

- 1-1** シフトレバーがパーキング(P)になっていることを確認し、ブレーキペダルから足を離す



- 1-2** エンジンキー(エンジンスイッチ)を OFF → ACC → ON と切り替える



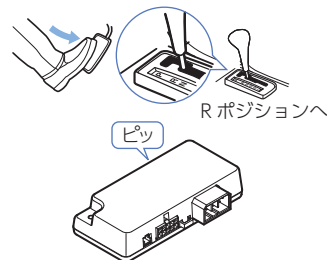
ジャンクションユニットからの『ピピピッ ピピピッ ピピピッ…』音が止まります。

※ ブレーキペダルを踏んだままエンジンキーを ON にすると、正しく設定できないことがあります。

- 1-3** ブレーキペダルを踏み、確認音『ピッ』が鳴るか確認する

ブレーキペダルを踏み『ピッ』音が鳴らなかった場合

- 1-4** ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをパーキング(P)からリバース(R)に切り替える



約 3 秒後に確認音『ピッ』が鳴ります。

- 1-5** ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをパーキング(P)に戻す

『ピー』音または『ピロロロ…』音が鳴ります。

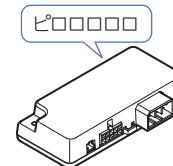
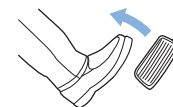
- 1-6** ブレーキペダルから足を離す

ブレーキペダルを踏み『ピッ』音が鳴った場合

ブレーキ検出線が接続されています。

次のように操作してください。
※ 車両のブレーキランプがもとも白熱球の場合、LED 電球に交換すると、ブレーキペダル操作による P・ポジション検出ができないことがあります。

- 1-4** ブレーキペダルから足を離す



以上で設定完了です。

エンジンキー(エンジンスイッチ)を OFF に戻し『ピピピッ ピピピッ ピピピッ…』音が鳴らないことを確認してください。

『ピピピッ ピピピッ ピピピッ…』音が鳴りやまない場合、P ポジション検出ができていません。その場合は、接続先をご確認のうえ手順 1-1 から設定をやり直してください。

リモコンについて

1. リモコンの表示について

リモコンのエンジン・スタート・ストップボタンのいずれかを押し、液晶画面が約3秒間点灯します。

また、電波を受信した場合は、動作に応じた液晶画面が約3秒間点灯してお知らせします。

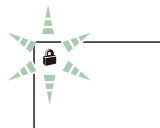
- ・液晶画面は点灯後、バッテリーセーブのため消灯します。
- ・気温が0℃以下になると液晶表示が薄くなったり、表示されないことがありますが、エンジンの始動・停止等のリモコン操作には問題ありません。

「点灯」・「点滅」の表示について

本書では「点灯」・「点滅」を次のように表示しています。



点灯の表示例



点滅の表示例

■ アニメーション表示について

リモコンの液晶画面には本機によるエンジンの始動や停止およびリモコンから電波が送信される様子を表すアニメーションが表示されます。

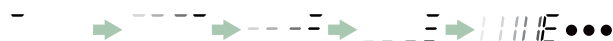
※ 液晶画面のイラストは、説明のためのものです。実際の画面とは異なります。



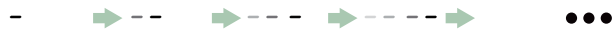
羽ピクトの例 (エンジンの状態を表すアニメーション)



送信アニメーション



受信待ちアニメーション



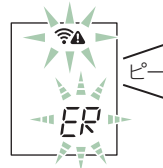
※ これらのアニメーションは、リモコンからジャンクションユニットへの通信イメージです。実際の通信状況やエンジン回転数を表すものではありません。

2. リモコンの上手な使い方

リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

- 通信が正常にできない場合、エラー音『ピー』が鳴り、"ER"が点滅します。このような場合は、以下のことをお試しください。改善される場合があります。

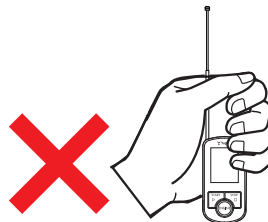
※ 車両とリモコンの間に障害物がなくなるような方向に車両を駐車してください。
障害物により電波が遮断されることがあります。



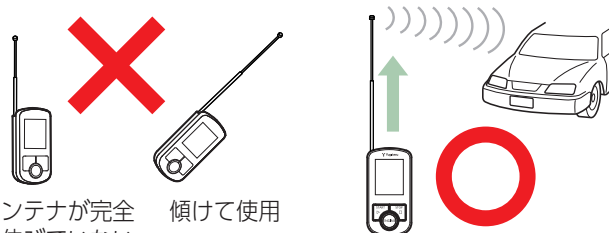
<エラー表示>

- リモコンのアンテナを手で覆わないでください。

※ 電波が飛びにくくなります。



- リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。



アンテナが完全に伸びていない 傾けて使用

- 付属のシリコンジャケットをかぶせると、リモコンを傷や汚れから守ります。

※ シリコンジャケットの開口部から液晶画面が見えるようにリモコンを入れてください。シリコンジャケットがやぶれることがありますので、シリコンジャケットを必要以上に伸ばさないでください。

3. サイレント操作について

リモコンを操作するとき、最初の操作を変更すると一時的にリモコンからの音を鳴らなくすることができます。設定の変更により、常に音を鳴らさないようにすることもできます。(▶P.70)

■ 一時的に音を鳴らさない場合

リモコンの操作するとき、エンジンボタンを "SE" が表示 ("S" が点灯, "E" が点滅) するまで押し続ける (約3秒間) と、一時的に、リモコンから音を鳴らすことなく、リモコン操作が行えます。

※ 最初のエンジンボタンを押す時に一度だけ「ピッ」と鳴ります。



4. 時刻を合わせる

本機の現在時刻は一か月に3分程度ずれることがあります。時差が生じ始めたら、現在時刻を設定してください。

時刻の設定方法は、▶ P.60 「1. 現在時刻設定操作」を参照してください。

5. 電池残量表示

エンジン始動、エンジン停止、エンジン状態確認、ドアロック、ドアアンロック操作時にローバッテリーアイコンを表示し、リモコンの電池の残容量が一定以下になったことをお知らせします。

・第1キー操作時に電池残量判定を行い、電池残量が少ない場合はローバッテリーアイコンを点灯させ、第1キー操作音を鳴らしません。

※ 第2キー以降の操作は通常と同じです。

※ 電池残量が少なくなったお知らせが出た後でも、電池の状態によっては、再度操作した際にこのお知らせが出ない場合があります。

⚠ 注意



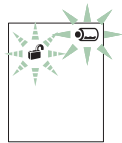
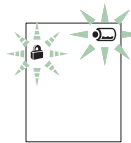
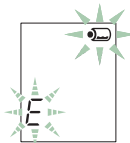
- ・ローバッテリーアイコンが点灯したら、すみやかに新しい電池と交換してください。
- ・電池寿命が近づくと、第2キー以降の操作を行っても、ジャンクションユニットとの通信ができず、エラー表示 "ER" が出て操作を完了できません。

第1操作キーが

■ エンジンボタンの場合

■ スタートボタンの場合

■ ストップボタンの場合



6. 電池交換

電池を交換するときには下記の手順で電池を装着してください。

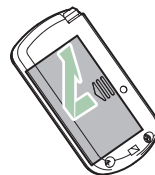
電池交換中は車両周囲の安全を確認のうえ、不意なエンジン始動には十分にご注意ください。

⚠ 警告

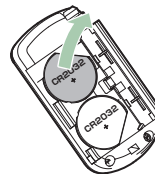


- ・使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・火傷の原因となることがあります。
- ・また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

6-1 電池カバーを開ける

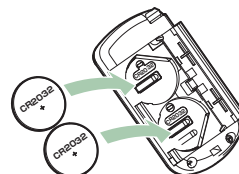


6-2 電池を取り出す



※ 電池を取り出しても、リモコンの設定内容は消去されません。

6-3 電池(CR2032)を図のように入れる



電池

6-4 電池カバーを閉める

・電池の交換時期について

ローバッテリーアイコンが点灯したら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

・電池寿命の目安

約1年を目安に新しい電池 (CR2032 2個) と交換してください。(1日10回使用時)

※ 使用する条件によって異なります。

※ 付属 (リモコンに装着済み) の電池は動作確認用のサンプルです。サンプルの電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

※ 指定の電池 (CR2032) 以外は使用しないでください。

7. リモコンが紛失 / 故障したとき

リモコンの紛失や故障などの場合は、新たなリモコンを登録することができます。

※ リモコンは取り寄せ品となるため、お時間を頂戴する場合があります。あらかじめご了承ください。

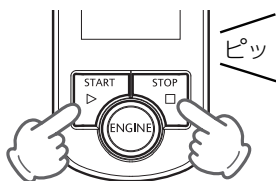
付属のリモコンは、登録する必要はございません。そのままご使用いただけます。

※ リモコンの登録は登録 1、登録 2 のどちらかの方法で行ってください。両方を行う必要はありません。

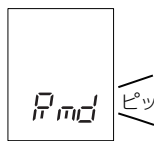
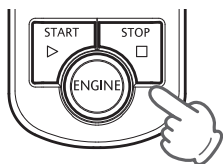
※ リモコンの登録操作は、設定メニューに入っていきます。(●P.66)

■ リモコンの登録方法 1

7-1 「ピッ」と鳴るまで、スタートボタンとストップボタンの両方を同時に約 5 秒間押し続ける

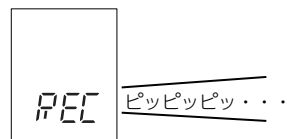
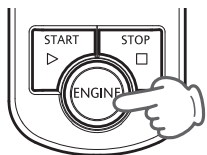


7-2 「Rmd」が表示されるまでストップボタンを押す



※ 20 秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音「ピーピーピー」が鳴り、登録をキャンセルします。

7-3 エンジンボタンを押す



「REC」と表示され、リモコンから「ピッピッピッ・・・」と確認音が連続してなります。

※ 20 秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音「ピーピーピー」が鳴り、登録をキャンセルします。

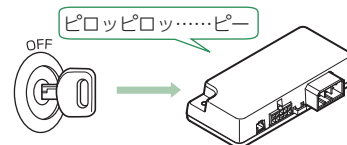
次の手順「4」～「7」は、リモコンからの確認音「ピッピッピッ・・・」がなっている間(約 40 秒間)に操作してください。

※ 約 40 秒を超えると、確認音「ピッピッピッ・・・」が消え、登録がキャンセルされます。

7-4 キーを押し込んで、OFF → ACC → ON → ACC → OFF を 7.5 秒以内に 3 回切り替える

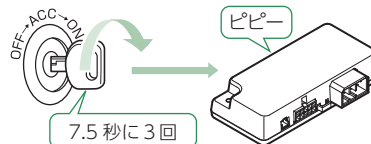


7-5 OFF の状態で「ピロップピロ」音が 10 秒間鳴り、最後に「ピー」となる



※ 「ピロップピロ」音が鳴っている時にキーを操作すると登録がキャンセルされます。

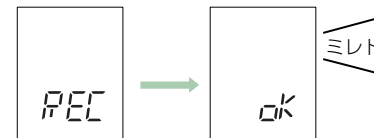
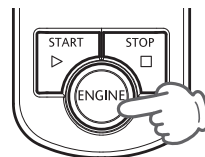
7-6 「ピー」と鳴ってから 7.5 秒以内に OFF → ACC → ON → ACC → OFF を 3 回切り替える



ジャンクションユニットから「ピピー」と鳴ります。

※ 7.5 秒を超えると登録がキャンセルされます。

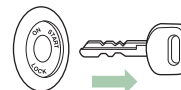
7-7 「ドレミ」と鳴るまで、エンジンボタンを押す



「REC」が 1 度点滅し、信号を送信します。ジャンクションユニットから「ピッ」「ピッ」「ピー」と鳴ります。

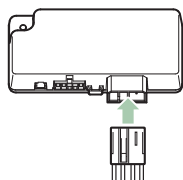
ジャンクションユニットからの信号を受信すると受信音「ミレド」が鳴り、「ok」表示でリモコン登録完了をお知らせします。

7-8 キーを抜く



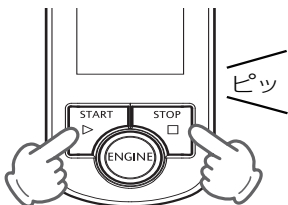
■ リモコンの登録方法 2

7-1 ジャンクションユニットのコネクター 1 からハーネスを外し、再度接続する

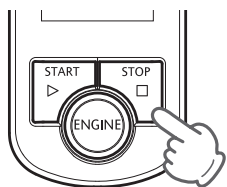


『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』と確認音が連続して鳴ります。

7-2 「ピッ」と鳴るまで、スタートボタンとストップボタンの両方を同時に約 5 秒間押し続ける

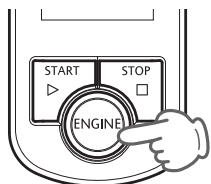


7-3 "Rmd"が表示されるまでストップボタンを押す



※ 20 秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音「ピーピーピー」が鳴り、登録をキャンセルします。

7-4 エンジンボタンを押す



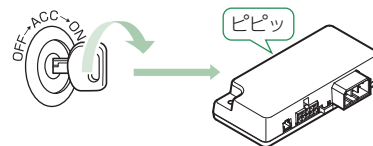
"REC"と表示され、リモコンから「ピッピッピッ・・・」と確認音が連続して鳴ります。

※ 20 秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音「ピーピーピー」が鳴り、登録をキャンセルします。

次の手順「5」～「6」は、リモコンからの確認音「ピッピッピッ・・・」がなっている間(約 40 秒間)に操作してください。

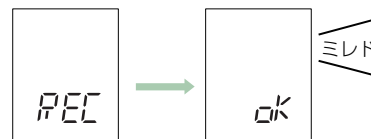
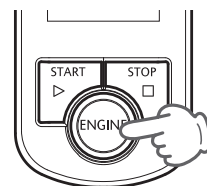
※ 約 40 秒を超えると、確認音「ピッピッピッ・・・」が消え、登録がキャンセルされます。

7-5 キーを差し込んで、OFF → ACC → ON と切り替える



ジャンクションユニットから約 3 秒後に「ピッ」と鳴ります。

7-6 「ドレミ」と鳴るまで、エンジンボタンを押す



"REC" が 1 度点滅し、信号を送信します。ジャンクションユニットから「ピッ」「ピッ」「ピー」と鳴ります。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると受信音「ミレド」が鳴り、「ok」表示でリモコン登録完了をお知らせします。

7-7 ON → ACC → OFF と切り替え、キーを抜く




リモコン登録後、続けて「P・ポジション検出」(P.38)を行ってください。

エンジン始動～停止までの手順

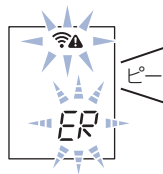
下記の手順に沿って操作を行います。



■ エラーについて

本機リモコン操作（エンジンの始動、停止、状態確認、アイドリング時間の延長、ドアのロック/アンロック）をしたときに、ジャンクションユニットからの信号を受信できないと、「ER」が点滅、「」が点灯して、リモコンからエラー音『ピー』が鳴ります。

このような場合は、場所を変えてもう一度リモコン操作を行ってください。（●P.41）



1. エンジンの始動

⚠ 注意

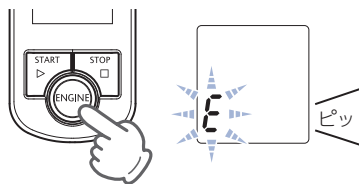
・エンジンを始動するときは…
シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用してください。



・降雪時や寒冷地で車両を駐車するときは…
車両を駐車するときはワイパーなどの電源を OFF にしてください。本機でエンジン始動の際、ワイパーの凍結などにより過大な負荷がかかり車種別専用ハーネスのヒューズが切れる恐れがあります。

本機のリモコンでエンジンを始動する方法は、以下のとおりです。

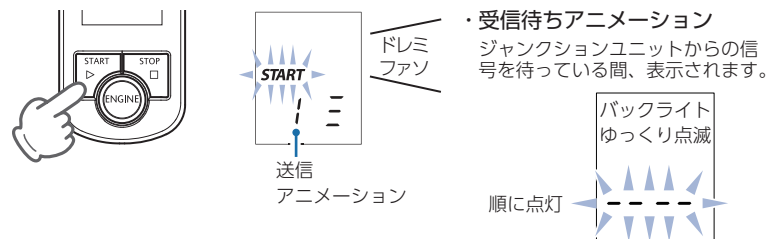
1-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまでエンジンボタンを押す



"E" が点滅します。

・リモコンの詳細は…
●P.40「リモコンについて」

1-2 "E" が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファン』が鳴るまでスタートボタンを押す



"START" が点灯し、送信アニメーションが表示され、信号を送信します。

ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

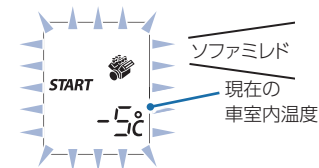
ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』と鳴ります。

※ 電波状態によって送受信がすぐに行われる場合があります。その場合、『ドレミファン』、『ソファミレド』が連続して聞こえることがあります。

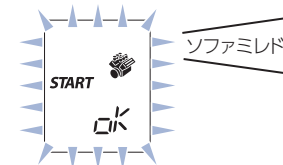
■ 車室内温度表示設定 ON 時のアンサーバック

現在の車室内温度を表示したあと、表示は消え、エンジン始動確認信号の受信を待ちます。



■ 車室内温度表示設定 OFF 時のアンサーバック

"OK" を表示したあと、表示は消え、エンジン始動確認信号の受信を待ちます。



※ 車室内温度表示設定の ON/OFF については、●P.70 を参照してください。

エンジンの始動を行います。

- ・車両のバッテリーの性能が低下していると…
エンジンキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

エンジンが始動すると

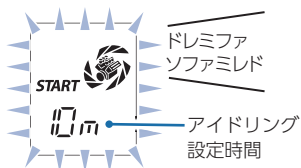
エンジン始動を検出して、始動確認の信号をリモコンに送ります。

※ 別売品のハザード制御：A-18SF (●P.12) を接続していると、ハザードランプが3回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

■ オートストップ無効時のアンサーバック

受信音『ドレミファソファミレド』と鳴り、エンジン始動アニメーションとアイドリング設定時間を表示します。



■ オートストップ有効時のアンサーバック

受信音『ドレミファソファミレド』と鳴り、エンジン始動アニメーションと "AUTO" を表示します。



※ アイドリング時間の設定については、●P.68 を参照してください。

・アイドリング中は…

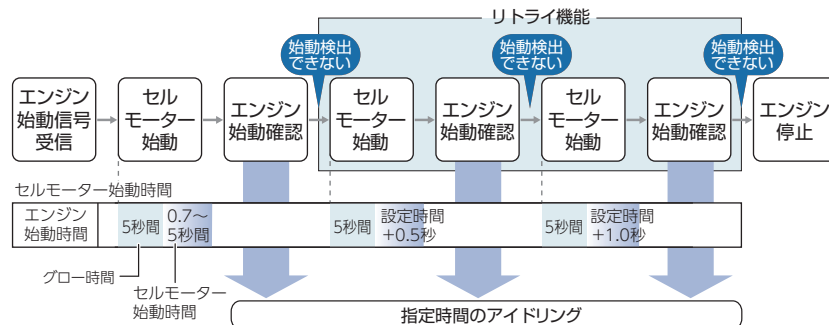
「ピピピピッ」とジャンクションユニットから連続して音が鳴り、本機動作によりアイドリングしていることをお知らせします。

※ エンジンが始動できないと、リトライ機能が働きます。(●P.51)

■ リトライ機能とセルモーター始動時間について

エンジンが始動できなかったときに、再始動(リトライ)を2回行います。

●P.70「リトライ設定」



- ※ オルタネータ線を接続した場合、エンジンの始動を検出すると、セルモーターを停止します。
- ※ 車種や電装品によっては、エンジンの始動確認ができず、再始動(リトライ)を繰り返す場合があります。このような場合は、始動判定方法選択を『特殊判定』に変更してください。(●P.72)
- ※ 始動判定方法選択を『特殊判定』に変更しても再始動を繰り返す場合は、オルタネータ線(白線)の接続が必要です。
- ※ 安全機能によりエンジン始動を停止した場合は、再始動(リトライ)は行いません。

・安全機能とは…

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジションになっていて、エンジンスターターによるエンジン始動が可能な状態であるかを確認する機能です。(●P.13 [P・ポジション自動検出])

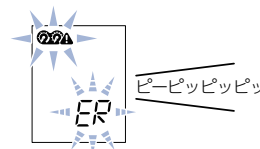
・リトライ動作を行うと

"P T" が点滅し、リトライ動作をお知らせします。



・2回目のリトライ動作でもエンジンが始動しなかった場合

受信音「ピーピーピピッ」が鳴り、「ER」が点滅し、リトライ動作を中止します。



リトライの設定を OFF にした場合も、この表示になります。

⚠ 警告

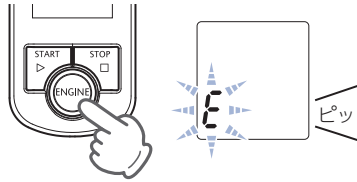
- ! 車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。また、むやみに操作ボタンを押さないでください。

2. エンジンの状態を確認する

エンジンの始動/停止状態の確認ができます。

※ エンジンキーでエンジンを始動した場合は確認できません。

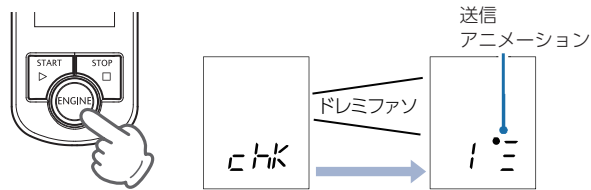
2-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまでエンジンボタンを押す



・リモコンの詳細は…
● P.40 「リモコンについて」

"E" が点滅します。

2-2 "E" が点滅中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで、もう一度エンジンボタンを押す

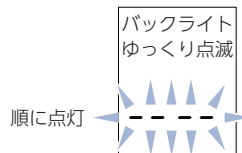


"CHK" が点灯し、送信アニメーションが表示され、信号を送信します。

ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

※ 別売品のハザード制御：A-18SF (● P.12) を接続していると、エンジンが始動している場合、ハザードランプが3回点滅します。

・受信待ちアニメーション
ジャンクションユニットからの信号を待っている間、表示されます。



・エンジンが始動できなかった場合は…
エンジンボタンを2度押すことで始動エラー音を確認することができます。
(● P.77 「始動エラー音について」)

車室内温度表示設定を ON にしていると

受信音『ソファミレド』が鳴り、車室内の温度を表示します。



※ 車室内温度表示設定の ON/OFF については、● P.70 を参照してください。

車室内温度表示後、アイドリング時間を表示します

■ オートストップ無効の場合

「アイドリング状態」の場合はアイドリング残時間を表示します。
「エンジン停止状態」の場合はアイドリング設定時間を表示します。



■ オートストップ有効の場合

「アイドリング状態」の場合はアイドリング経過時間を表示します。
「エンジン停止状態」の場合は "AUTO" を表示します。



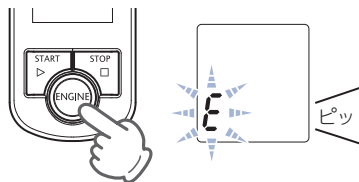
3. アイドリング時間を延長する

本機によるアイドリング中に、アイドリング設定時間に対して一度だけ 10 分間のアイドリング延長ができます。

次のような場合は、アイドリング時間を延長することができません。

- ・アイドリング時間設定を 30 分にしている場合
- ・アイドリング時間延長操作をすでに 1 度行っている場合
- ・オートストップを有効にしている場合

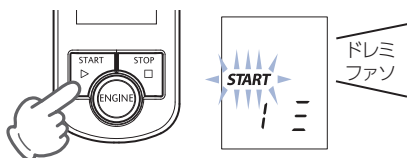
3-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまでエンジンボタンを押す



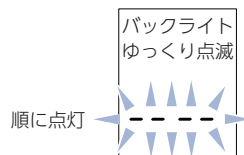
- ・リモコンの詳細は…
● P.40 「リモコンについて」

"E" が点滅します。

3-2 "E" が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでスタートボタンを押す



- ・受信待ちアニメーション
ジャンクションユニットからの信号を待っている間、表示されます。

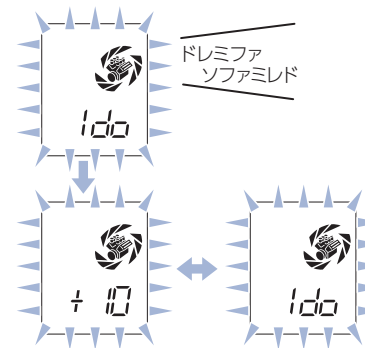


"START" が点灯し、送信アニメーションが表示され、信号を送信します。

ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

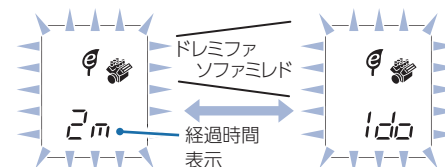
ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、"ido"と"+10"の交互の点灯で、アイドリング時間の延長をお知らせします。



オートストップが有効の場合

オートストップ機能 (● P.14) が有効になっていた場合はアイドリング延長は無効となり、受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、"ido"と"経過時間"を交互に表示します。

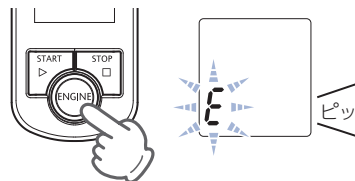


4. エンジンの停止

本機でエンジンを始動させた場合、もしくは本機によるアフターアイドリング中は、本機のリモコンでエンジンを停止させることができます。

※ エンジンキーでエンジンを始動した場合、リモコンでエンジンを停止することはできません。

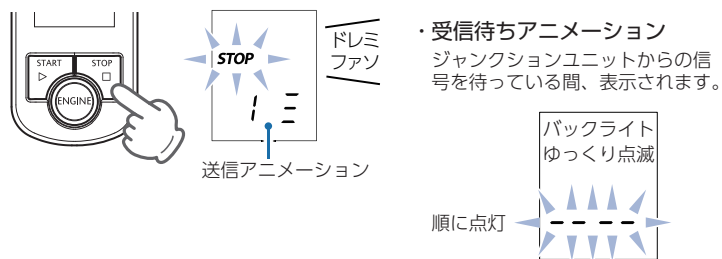
4-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまでエンジンボタンを押す



- ・リモコンの詳細は…
● P.40 「リモコンについて」

"E" が点滅します。

4-2 "E" が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファン』が鳴るまでストップボタンを押す

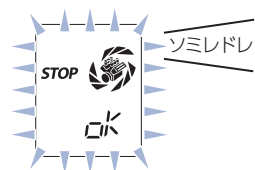


"STOP" が点灯し、送信アニメーションが表示され、信号を送信します。

ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソミレドレ』が鳴り、"OK" が点灯し、エンジン停止アニメーションが表示され、エンジンが停止したことをお知らせします。



5. 車両に乗る

安全のため、いったんエンジンを停止させたあと、必ず車両本来の操作（キー操作など）でエンジンを始動してください。

5-1 リモコン操作でエンジンを停止する

- ・エンジン停止操作は…
● P.55 「4. エンジンの停止」

5-2 車両本来の操作(キー操作など)で、エンジンを始動する

走行できます。

6. ドアのロック / アンロック操作

本機のリモコンでドアのロックやアンロックができます。

※ エンジンキーでアイドリングを行っているときは、本機リモコンでドアのロックやアンロックはできません。

別売品のキーレスエントリー：A-17SF (● P.12) 等の接続が必要です。

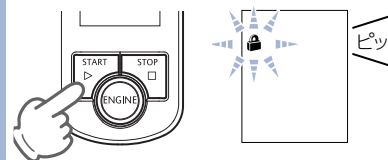
※ 車両によっては、別売品のドアロックアダプターやドアロックハーネス等が必要な場合があります。

⚠ 注意

- ・車両のバッテリー上がり、本機のリモコン電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車両のキーは必ず携帯してください。
- ・半ドア状態でドアロック操作をした場合は、ドアを完全にロックできない場合があります。
- ! 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤動作を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。
- ・本機は、オートリロック機能※を搭載しておりませんので、リモコンでドアアンロック後、乗車しない場合は、ドアのロック状態を確認してください。
※ ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック (リロック) する機能

■ ドアロック

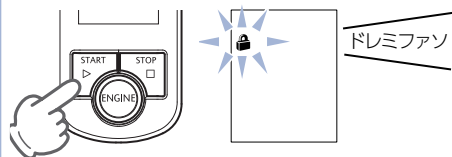
6-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで ロックボタンを押す



"🔒" が点滅します。

- ・リモコンの詳細は…
● P.40 「リモコンについて」

6-2 "🔒" が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで、もう一度ロックボタンを押す

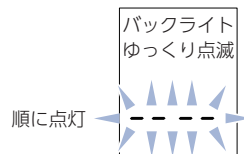


"🔒" が一瞬点灯し、信号を送信します。

ジャンクションユニットが信号を認識すると、ドアをロックしてリモコンに信号を送り返します。

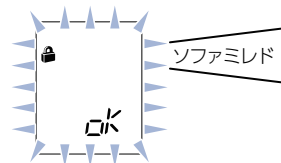
※ 別売品のハザード制御 : A-18SF (● P.12) を接続していると、ハザードランプが 1 回点滅して、ドアのロックをお知らせします。

- ・受信待ちアニメーション
ジャンクションユニットからの信号を待っている間、表示されます。



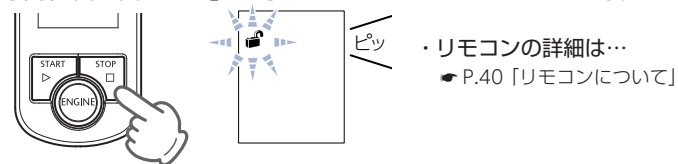
ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』が鳴り、"🔒" と "OK" が点灯し、ドアのロック(施錠)をお知らせします。



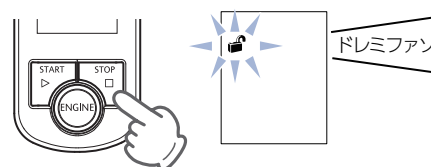
■ アンロック

6-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで アンロックボタンを押す



"🔒" が点滅します。

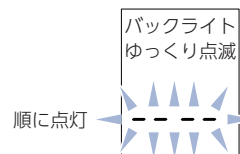
6-2 "🔒" が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで、もう一度アンロックボタンを押す



"🔒" が一瞬点灯し、信号を送信します。
ジャンクションユニットが信号を認識すると、ドアをアンロックしてリモコンに信号を送り返します。

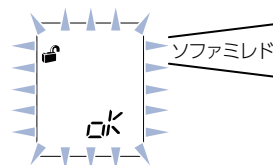
※ 別売品のハザード制御 : A-18SF (● P.12) を接続していると、ハザードランプが 2 回点滅して、ドアのアンロックをお知らせします。

- ・受信待ちアニメーション
ジャンクションユニットからの信号を待っている間、表示されます。



ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』が鳴り、"🔒" と "OK" が点灯し、ドアのアンロック(解錠)をお知らせします。



タイマースタート機能

予約した曜日の時刻に自動でエンジンを始動しアイドリングを行います。

- ※ タイマースタート機能をご使用になる前に、あらかじめ現在時刻を設定しておく必要があります。
- ※ 本機の現在時刻は一月に3分程度ずれることがあります。タイマースタートの設定に時差が生じ始めたら、再度現在時刻を設定してください。

警告



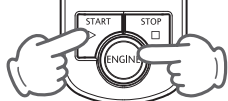
整備や車検などで車両を第三者に預けるときは、必ず「🕒」が表示されていないことを確認し、リモコンの電池を抜いてください。タイマースタート予約をしていると車検や整備中など思わぬときにエンジンが始動してしまうことがあり、大変危険です。

タイマー設定を行うと、一週間の内、一度のみ指定曜日・時刻にエンジンを自動始動します。

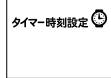
- ・毎週繰り返しの動作は行いません。
- ・一度作動した後は、再度設定が必要です。
- ・ボタンが押されなくなってから、約 20 秒で画面は消えます。操作がエンジンボタンで決定されていないと、設定は変更されません。
- ・曜日・時・分の設定画面でスタートボタンまたはストップボタンを長押しすると、早送りします。
- ・スタートボタンとストップボタンを同時押しすると、設定操作を終了し、設定中のデータはキャンセルされます。
- ・タイマー設定状態で、エンジンを始動、またはエンジンキーを ACC 以上まで回した場合、設定中のタイマーはキャンセルされます。
- ・別売品のドア検出線 (A-60) を接続している場合、タイマー設定をしている状態で、ドア開を検出すると、設定中のタイマーはキャンセルされます。

1. 現在時刻設定操作

1-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで、エンジンボタンとスタートボタンを同時に押す



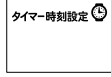
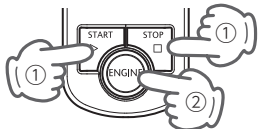
同時に押す



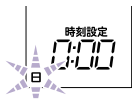
「タイマー時刻設定画面」

"タイマー時刻設定" が点灯します。

1-2 スタートボタンまたはストップボタンで "時刻設定" に切り替えて、エンジンボタンを押す



「タイマー時刻設定画面」



「曜日設定画面」

曜日設定画面を表示します。

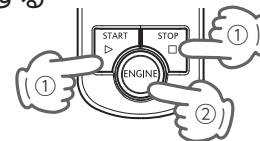
※ 「時刻設定」が点灯中 (約 20 秒間) でボタンが押されなかった場合、画面は消えます。

1-3 スタートボタンまたはストップボタンで曜日を変更し、エンジンボタンで決定する

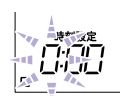


「曜日設定画面」

決定すると『ピッ』と動作音が鳴ります。

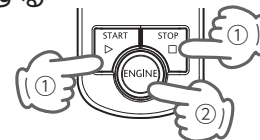


1-4 スタートボタンまたはストップボタンで時間(時)を変更し、エンジンボタンで決定する



「時間設定画面」

決定すると『ピッ』と動作音が鳴ります。

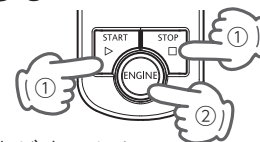


1-5 スタートボタンまたはストップボタンで時間(分)を変更し、エンジンボタンで決定する



「分設定画面」

決定すると『ピッ』と動作音が鳴ります。

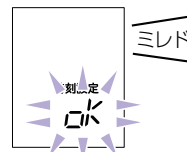


1-6 内容を確認し、スタートボタンとエンジンボタンを長押し (約 5 秒以上) する

『ドレミ』と作動音が鳴ります。

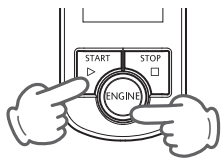
リモコンとジャンクションユニットの通信

- ① リモコンがジャンクションユニットに信号を送ります。
- ② ジャンクションユニットが信号を認識するとリモコンに信号を送り返します。
- ③ ジャンクションユニットからの信号を受信すると、"OK" を表示し、『ミレド』と動作音が鳴り、自動で画面が OFF になります。



2. タイマー時刻設定

2-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで、エンジンボタンとスタートボタンを同時に押す



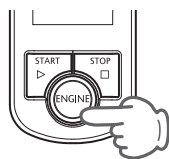
同時に押す

・ "時刻設定" が表示されている場合…

スタートボタンまたはストップボタンで "時刻設定" と "タイマー時刻設定" が切り替わります。

"タイマー時刻設定" が点灯します。

2-2 "タイマー時刻設定" が点灯中(約 20 秒間)に、エンジンボタンを押す



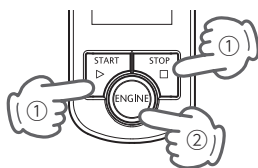
「曜日設定画面」

曜日設定画面を表示します。

2-3 スタートボタンまたはストップボタンで曜日を変更し、エンジンボタンで決定する

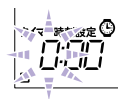


「曜日設定画面」

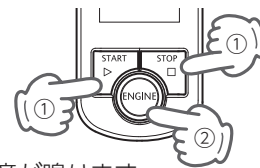


決定すると『ピッ』と動作音が鳴ります。

2-4 スタートボタンまたはストップボタンで時間(時)を変更し、エンジンボタンで決定する

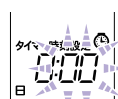


「時間設定画面」

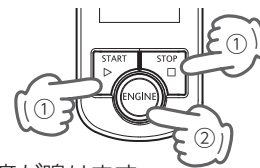


決定すると『ピッ』と動作音が鳴ります。

2-5 スタートボタンまたはストップボタンで時間(分)を変更し、エンジンボタンで決定する



「分設定画面」



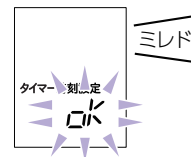
決定すると『ピッ』と動作音が鳴ります。

2-6 内容を確認し、スタートボタンとエンジンボタンを長押し(約 5 秒以上)する

『ドレミ』と作動作音が鳴ります。

リモコンとジャンクションユニットの通信

- ① リモコンがジャンクションユニットに信号を送ります。
- ② ジャンクションユニットが信号を認識するとリモコンに信号を送り返します。
- ③ ジャンクションユニットからの信号を受信すると、"OK" を表示し、『ミレド』と動作音が鳴り、自動で画面が OFF になります。



3. タイマー予約解除

タイマー予約解除、およびタイマーの再設定を行います。
この操作では、タイマーの ON / OFF のみ設定できます。

スタートボタンとストップボタンを同時押しすると、設定操作を終了し、設定中のデータはキャンセルされます。

3-1 操作確認音『ピピッ』が鳴るまで、エンジンボタンとストップボタンを同時に押す



同時に押す

「タイマー時刻設定」(タイマー OFF) を表示します。スタートボタン、ストップボタンで「タイマー時刻設定」(タイマー ON) と「タイマー時刻設定」(タイマー OFF) が切り替わります。

3-2 「タイマー時刻設定」(タイマー OFF) が点灯中(約 20 秒間)に、エンジンボタンを押し、設定を確定する



『ドレミ』と動作音が鳴ります。

リモコンとジャンクションユニットの通信

- ① リモコンがジャンクションユニットに信号を送信します。
- ② ジャンクションユニットが信号を認識するとリモコンに信号を送り返します。
- ③ ジャンクションユニットからの信号を受信すると、「OFF」を表示し、『ミレド』と動作音が鳴り、約 3 秒で画面が OFF になります。



4. タイマー再設定(前回と同じ曜日、時刻に設定)

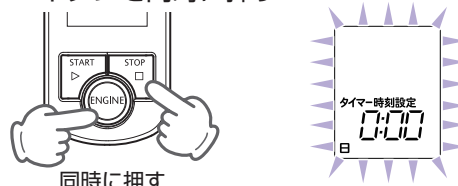
タイマー設定を行うと、一番新しい設定情報をリモコンが記憶しています。記憶している設定で再度タイマースタートする場合に、設定の ON/OFF のみで前回と同様の設定が可能です。

※ 現在時刻の設定を行ってください。前回作動時より時間が経っていると、内蔵時計がズレている場合があります。

前回と違う曜日、時刻にタイマーを設定する場合は、「タイマー時刻設定」と「現在時刻設定」を設定しなおしてください。

・スタートボタンとストップボタンを同時押しすると、設定操作を終了し、設定中のデータはキャンセルされます。

4-1 操作確認音『ピピッ』が鳴るまで、エンジンボタンとストップボタンを同時に押す



同時に押す

「タイマー時刻設定」(タイマー OFF) を表示します。スタートボタン、ストップボタンで「タイマー時刻設定」(タイマー ON) と「タイマー時刻設定」(タイマー OFF) が切り替わります。

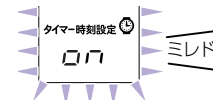
4-2 「タイマー時刻設定」(タイマー ON) が点灯中(約 20 秒間)に、エンジンボタンを押し、設定を確定する



『ドレミ』と動作音が鳴ります。

リモコンとジャンクションユニットの通信

- ① リモコンがジャンクションユニットに信号を送ります。
- ② ジャンクションユニットが信号を認識するとリモコンに信号を送り返します。
- ③ ジャンクションユニットからの信号を受信すると、「ON」を表示し、『ミレド』と動作音が鳴り、約 3 秒で画面が OFF になります。



エンジンスターターの設定

本機は車両や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定を設けてあります。

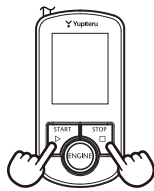
1. 設定項目一覧

⚠ 注意

⚠マークがついた項目を設定するには専門知識が必要です。不用意に設定を変更さらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

ご注意

設定モード中は 20 秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音「ピーピーピー」が鳴り、変更した内容を記憶せず、設定モードを終了します。



スタートボタンとストップボタンの両方を同時に約 5 秒間押し続ける

アイドリング時間の設定
表示 *Ido*
項目音「ピッ」

スタートボタン / ストップボタン

セル時間の設定
表示 *CEL*
項目音「ピッ」

スタートボタン / ストップボタン

グロー時間の設定
表示 *Glo*
項目音「ピッ」

スタートボタン / ストップボタン

次のページへ

エンジンボタンを押す
操作確認音「ドレミン」が鳴ります。

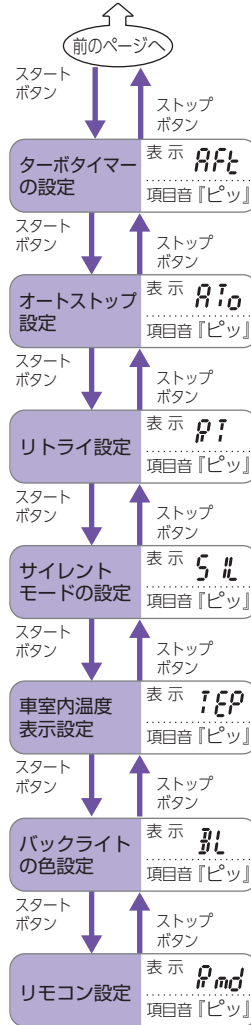
スタートボタンまたはストップボタンを押して、設定値を変更します。

設定時間を選択
オートストップ / 2分 / 10分 / 15分 / 20分 / 30分

設定時間を選択
0.7秒 / 1.0秒 / 1.3秒 / 1.5秒 / 2.0秒 / 3.0秒 / 5.0秒

設定時間を選択
2秒 / 3秒 / 5秒 / 7秒 / 10秒

エンジンボタンを押す
操作確認音「ドレミン」が鳴り、設定完了音「ミレド」と液晶画面に「Ok」が表示されると設定完了です。



エンジンボタンを押す
操作確認音「ドレミン」が鳴ります。

エンジンボタンを押す

スタートボタンまたはストップボタンを押して、設定値を変更します。

ON / OFFを選択

設定温度を選択
10℃ / 12℃ / 14℃ / 16℃ / ... / 34℃ / 36℃ / 38℃ / 40℃

リトライする / しないを選択

リモコンから音を鳴らす / 鳴らさないを選択

表示する / しないを選択

バックライトの色を選択
BL1(白)/BL2(黄)/BL3(紫)/BL4(水)/BL5(赤)/BL6(緑)/BL7(青)

ID登録動作

エンジンボタンを押す

操作確認音「ドレミン」が鳴り、設定完了音「ミレド」と液晶画面に「Ok」が表示されると設定完了です。

カスタマイズして使う

2. 各設定項目の説明

設定時の操作方法は、P.66 を参照してください。

⚠ 注意

⚠ マークがついた項目を設定するには専門知識が必要です。不用意に設定を変更しないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

アイドリング時間の設定

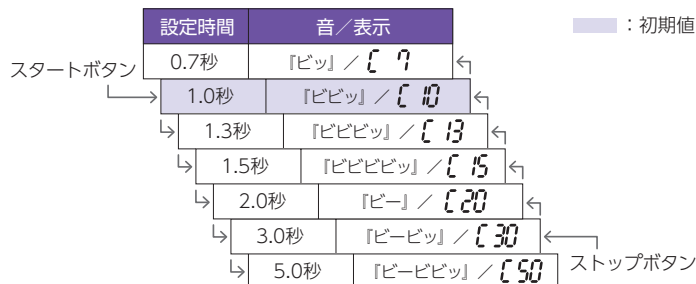
本機で始動した場合のアイドリング時間をオートストップ / 2/10/15/20/30 分の 6 段階から選択できます。



⚠ セル時間の設定

車両にあったセル時間を、0.7/1.0/1.3/1.5/2.0/3.0/5.0 秒の 7 段階から選択できます。セルモーターの引きずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。

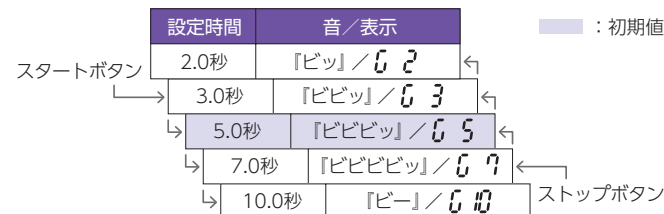
- ※ オルタネータ線（白線）を接続している場合は、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモーターを停止します。
- ※ 一部のプッシュスタート車は変更できません。セル時間の設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。



グロー時間の設定

リモコンからの電波を受信後、セルモーターを回すまでの時間を 2.0/3.0/5.0/7.0/10.0 秒の 5 段階から選択できます。一部のディーゼル車などで、5 秒以上のグロー時間を必要とする場合は設定してください。ホンダ車や上記のような一部のディーゼル車を除き、リモコン始動などで問題がない場合は、設定を変更しないでください。

- ※ グロー時間を 7.0 秒、10.0 秒を選択した場合は、オルタネータ線の接続が必要です。
- ※ 一部のプッシュスタート車は変更できません。グロー時間の設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。



ターボタイマーの設定

ターボタイマー機能の ON/OFF が設定できます。

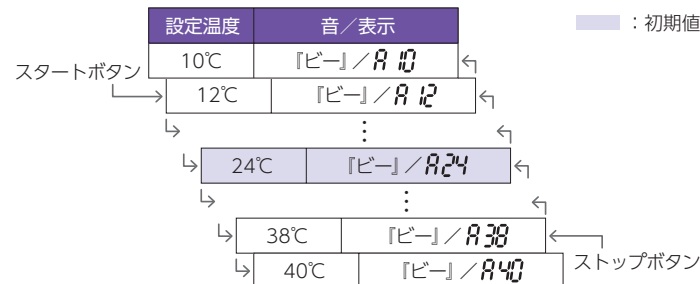
- ※ アフターアイドリング時間を手動で設定することはできません。（P.15）
- ※ 一部のプッシュスタート車は変更できません。ターボタイマー機能の ON/OFF 設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。



オートストップ設定

車内の温度が設定した温度になると、自動的にエンジンがストップします。

- ※ アイドリング時間の設定をオートストップにする必要があります。



リトライ設定

RT

1回でエンジン始動できなかったときに、再始動(リトライ)を自動的に2回まで行います。

※一部のプッシュスタート車は「リトライしない」に固定されるため、変更できません。リトライ設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。

	設定値	音/表示	
スタートボタン	リトライする	「ビッ」/On	← 初期値
	リトライしない	「ビビッ」/OFF	

サイレントモードの設定

SIL

リモコンからのすべての音を「鳴らす / 鳴らさない」から選択できます。鳴らさない設定にすると、液晶画面のみでお知らせします。

	設定値	音/表示	
スタートボタン	鳴らさない	「ビッ」/On	← 初期値
	鳴らす	「ビビッ」/OFF	

車室内温度表示設定

TEMP

リモコンに表示される車室内温度のON/OFFが設定できます。

	設定値	音/表示	
スタートボタン	表示する	「ビッ」/On	← 初期値
	表示しない	「ビビッ」/OFF	

バックライトの色設定

BL

リモコンに表示されるバックライトの色を設定できます。

	設定値	音/表示	
スタートボタン	BL1(白)	「ビッ」/BL1	← 初期値
	BL2(黄)	「ビビッ」/BL2	
	BL3(紫)	「ビビビッ」/BL3	
	BL4(水)	「ビビビビッ」/BL4	
	BL5(赤)	「ビー」/BL5	
	BL6(緑)	「ビービッ」/BL6	
	BL7(青)	「ビービビッ」/BL7	

リモコン設定

Rcmd

リモコンの紛失や故障などで新たにリモコンを登録する場合に使用します。

エンジンスターターの特殊設定

本機は一部の特殊な車両でご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

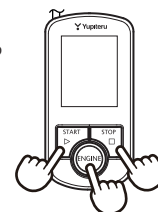
1. 設定項目一覧

注意

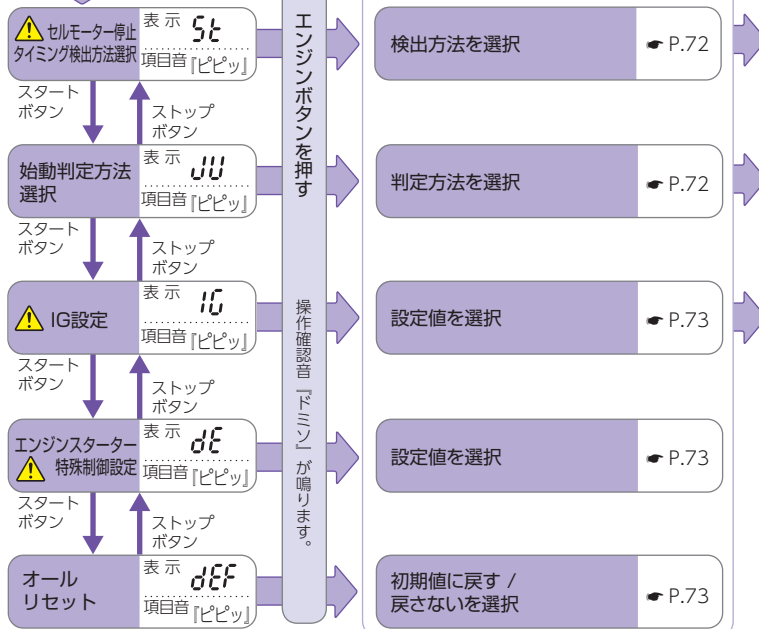
⚠ マークがついた項目を設定するには専門知識が必要です。不用意に設定を変更なされないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

ご注意

設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音「ピーピーピー」が鳴り、変更した内容を記憶せず、設定モードを終了します。



スタートボタンとストップボタン、エンジンボタンの3つを同時に約5秒間押し続ける



エンジンスターターボタンを押す 操作確認音「ドレミ」が鳴り、設定完了音「ミレド」と、液晶画面に「OK」が表示されると設定完了です。

カスタマイズ
として使う

2. 各設定項目の説明

設定時の操作方法は、P.71 を参照してください。

⚠ 注意

⚠ マークがついた項目を設定するには専門知識が必要です。不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

⚠ セルモーター停止タイミング検出方法選択

5t

セルモーター停止タイミングの検出方法を選択できます。セル時間を設定してもセルモーターの引きずりが改善されない場合に、設定を「電圧検出」に変更してご使用ください。セルモーターの引きずりが無い場合は、設定変更しなくてください。

- ※一部のプッシュスタート車は変更できません。セルモーター停止タイミング検出方法選択の設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。
- ※「オルタネータ検出」を選択（初期値）をしている場合で、オルタネータ線が接続されていないときは、セル時間（「セル時間の設定」P.68）で、セルモーターを停止します。
- ※一部の車両ではセルモーター停止タイミング検出を「電圧検出」に設定しても、セルモーターの引きずりを改善できない場合があります。このような場合は設定を「オルタネータ検出」に戻して、オルタネータ配線を行ってください。



始動判定方法選択

UU

本機でエンジン始動後、エンジン始動判定方法を選択できます。エンジンが正常に始動したにもかかわらず、約1分程度で停止してしまう場合に、設定を「J0（特殊判定）」に変更してご使用ください。

- ※特殊判定を選択した場合、エンジン始動に失敗しても、アイドリング設定時間の間、車両の電源がONとなることがあります。



⚠ IG 設定

IG

一部の車両において、初期値の状態で使用すると、本機によるエンジン始動ができない場合があります。車種別専用ハーネス適応表にて指定のある車両のみ、設定値を変更してください。上記以外の車両では設定を変更しないでください。

- ※一部のプッシュスタート車は変更できません。IG 設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。



⚠ エンジンスターター特殊制御の設定

dE

一部の車両において、初期値の状態で使用すると、本機によるエンジン始動ができない場合があります。車種別専用ハーネス適応表にて指定のある車両のみ、設定値を「OFF」に変更してください。上記以外の車両では設定を変更しないでください。

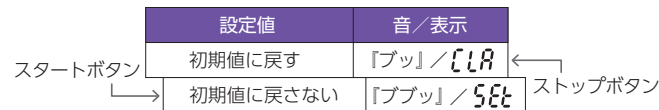
- ※一部のプッシュスタート車やイモビライザー装備車は、自動的に「OFF」になり、変更できません。特殊制御設定の設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。



オールリセット

dEF

エンジンスターターの設定（P.66～P.73）をすべて初期値に戻します。

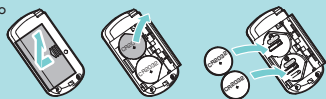


- ※エンジンスターターの設定を変更する場合（サイレントモードの設定・車室内温度表示設定・バックライトの色設定を除く）は、「SEt」と表示されます。変更していない場合は、「CLA」と表示されます。

故障かな?と思ったら

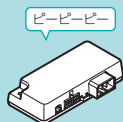
操作ボタンを押してもリモコンの液晶画面が表示されない

- リモコンの電池が正しく入っていますか。
正しく電池をセットしてください。
- リモコンの電池が消耗していませんか。
新しい電池と交換してください。



リモコン操作でエンジンが始動または停止できない

- スリープ機能が働いていませんか。
一度キーでエンジンをかけてください。
- シフトレバーがパーキング(P)ポジションになっていますか。
- 車種別専用ハーネスのヒューズが切れていませんか。
- エンジンスターターが正しく設定されていますか。(● P.66)
- P・ポジションが検出できていますか。
一部の車両では、P・ポジションが検出できないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。
- ジャンクションユニットからエラー音が鳴っていませんか。
エラー音を確認してください。(● P.77)
- キー操作でエンジンが始動しますか。
始動しない場合は車両の点検をしてください。
- キーでエンジンを始動していませんか。
キーでエンジンを停止してからリモコン操作でエンジン始動を行ってください。
- 車両と離れすぎていませんか。
リモコンの電波が届く範囲内で操作を行ってください。(● P.41)
- 車両のバッテリーが弱っていませんか。
車両のバッテリーを充電するか、新品と交換してください。バッテリーを交換した場合には、P・ポジション検出が必要です。(● P.38)



リモコン操作がエラーになる

- 車内で『ピピピッ ピピピッ』音が鳴っていませんか。
P・ポジション検出を行ってください。(● P.38)
- リモコンの電池が消耗していませんか。
新しい電池と交換してください。
- 車両のバッテリーを交換しましたか。
車両のバッテリー交換後はP・ポジション検出が必要です。(● P.38)

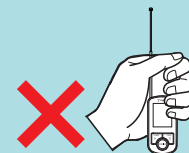


リモコン操作でエンジンが始動できない、または始動しても停止する

始動判定方法選択を特殊判定に変更して操作してください。(● P.72)

リモコン操作できる距離が短い

- リモコンのアンテナ部を手で覆っていませんか。
アンテナ部に手を触れないで操作してください。
- 車両とリモコンの間に障害物がありませんか。
障害物のない場所から操作してください。
- リモコンの電池が消耗していませんか。
新しい電池と交換してください。



リモコン操作でエンジンが始動または停止できない

- エンジン始動・停止・状態確認操作時に押すエンジンボタンを長押ししていませんか。
エンジンボタンを短く(約1秒)押して操作を行ってください。
- サイレントモードの設定が「ON」になっていませんか。
設定を「OFF」にしてください。(● P.70)

エンジン始動時と停止時に、車両のブレーキランプが点灯する

プッシュスタート車はエンジンをかけるときにフットブレーキを踏む必要があるため、本機でのエンジン始動ではフットブレーキの配線を電氣的に制御しています。このため車両のブレーキが点灯しますが、異常ではありません。

ターボタイマーが作動しない

- ターボタイマー機能は正しく設定されていますか。
初期値では「OFF」になっています。(● P.69)
- シフトレバーを操作していますか。
シフトレバーを操作せず、パーキング (P) ポジションやニュートラル (N) ポジションのままエンジンを停止した場合、ターボタイマー機能は動きません。(● P.14)

ドアを開けるとエンジンが停止する

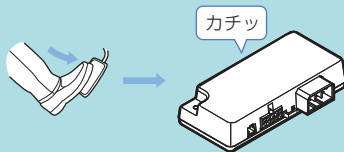
一部のプッシュスタート車は、本機でのエンジン始動後にドアを開けると、乗り逃げ防止のためエンジンを停止します。

車両のバッテリー交換後、車内で『ピピピッ ピピピッ』音が鳴っている

故障ではありません。車両のバッテリー交換後は P・ポジション検出が必要です。(● P.38)

ブレーキを踏むとカチッと鳴る

ブレーキ検出線の接続先とターボタイマー機能の設定が正しくありません。取付け店にご相談の上、ブレーキ検出線の接続先を確認・変更していただくか、ターボタイマー機能の設定を OFF に戻してください。



機能設定を購入時に戻したい

オールリセットを行ってください。(● P.71)

始動エラー音について

本機によるエンジンスタートやターボタイマー機能が動作しない場合は、エンジン始動失敗後にジャンクションユニットから鳴る音 (エラー音) により、不具合状況を確認できます。

本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社ご相談窓口にお問い合わせください。

※ エンジン始動失敗後、次にエンジン始動操作を行うまでの間は、リモコンのエンジンボタンの 2 度押し (エンジンの状態確認操作) を行うことで、ジャンクションユニットから、もう一度エラー音を鳴らすことができ、不具合状況を確認できます。

エラー音	不具合の検出
ピピピッ ピピピッ ピピピッ ...	P ポジション検出ができていません。もう一度やり直してください。(● P.38)
ピー ピッ ピッ	ブレーキ検出 ・ブレーキ検出線の接続先が正しいかご確認ください。 ・P ポジション検出をもう一度やり直してください。(● P.38)
ピッピッピッ ピッ	キー飛び込み検出 ・本機取り付け店にご相談の上、車種別専用ハーネス適応表に「エンジンスターター特殊制御設定を OFF に変更」の指定がある車種は、エンジンスターター特殊制御設定を OFF に変更してください。(● P.71)
ピー ピー ピー	始動確認できず ・車両にエンジンイモビライザーが装備されており、解除できていない。エンジンイモビライザーの有無や、イモビアダプターの品番、接続先等をご確認ください。 ・始動判定方法選択を「特殊判定」に変更するか、オルタネータ線を接続してお試しください。
ピー ピーピッ ピッ ピッ	エンストと判定 ・始動判定方法選択を「特殊判定」に変更するか、オルタネータ線を接続してお試しください。
ピー ピッ ピッ ピッ ピッ	ドア開を検出 (ドア検出線を接続している場合) ・全てのドアを閉じ、ルームランプが消灯してからお試しください。 ・ドア検出線の接続先が正しいかご確認ください。
ピー ピッ	シフト操作を検出 ・車種別専用ハーネス適応表に「ブレーキ検出線を接続」の指定がある車種は、ブレーキ検出線を接続し、もう一度 P ポジション検出をやり直してください。(● P.38)
ピー ピー ピッ	オルタネータ線に電圧を検出 ・オルタネータ線の接続先をご確認ください。
ピー ピー	バッテリー電圧の異常 ・バッテリーの電圧が正常値ではありません。バッテリーの点検をしてください。

仕様

実用通信距離：最大 2,000m[市街地](見通し)

電波到達距離：最大 12,000m[妨害の少ない河川道路](見通し)

※ 実用通信距離は一般的な電波環境での目安であり、通信距離をお約束するものではありません。

電波の届かない地下や屋内では表記通信距離より短くなることがあります。

※ ファンモーターなどのノイズの大きな車両ではエンジンを始動させる時に比べ、停止させる時の方が短くなることがあります。

■ リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
送受信周波数	920MHz 帯
送信出力	20mW 以下
使用電池	リチウム電池 CR2032 × 2
動作温度範囲	-10℃～+50℃
寸法	31 (W) × 62 (H) × 14 (D) mm (突起部含まず)
重量	約 30g (電池含む)

■ ジャンクションユニット

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
送受信周波数	920MHz 帯
電源電圧	12V 車専用 (DC9 ~ 16V)
送信出力	20mW 以下
消費電流	スリープ時：約 3mA 以下 / 待機時：約 13mA 以下 (平均)
動作温度範囲	-30℃～+85℃
寸法	127 (W) × 26 (H) × 59 (D) mm (突起部含まず)
重量	約 119g

■ アンテナユニット

送受信周波数	920MHz 帯
動作温度範囲	-30℃～+85℃
寸法	45 (W) × 12 (H) × 28 (D) mm (突起部含まず)
重量	約 60g (ケーブル含む)

この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM や ® などの記号を記載しない場合があります。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は弊社ホームページにてご確認ください。

<http://www.yupiteru.co.jp/>

アフターサービスについて

■ リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録(有償)することができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

※ リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

本書に従った、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書に従って修理いたします。

また、本機取り付けによる車両や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず[販売店・お買い上げ年月日]をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日から3年間です。(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)

● 対象部分

機器本体(消耗部品は除く)

● 修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」(P.74)で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○ 保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○ 保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

● 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

● 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

● 紛失等による付属の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取付・取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター  0120-998-036

お客様ご自身での取り付け作業に対するサポートは行っておりません。